

安来市地域福祉計画アンケート調査 報告書

令和6年10月

安来市

目次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査設計.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II 市民調査.....	2
1 基本的事項.....	2
2 地域との関わりについて.....	7
3 生活上の困りごとなどについて.....	14
4 情報の入手先について.....	22
5 今後の住まいの意向について.....	25
6 災害に関することについて.....	30
7 福祉のまちづくりについて.....	37
III 関係団体調査.....	48
1 基本的事項.....	48
2 活動状況について.....	49
3 地域の状況について.....	51
4 組織・団体間の連携の状況について.....	55
5 安来市の福祉全般について.....	57

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、地域福祉計画を策定するにあたって、町民の皆様から地域福祉に関する意見や要望を把握し、今後の方向性を検討するために実施したものです。

2 調査設計

調査地域	: 安来市
調査対象者	: 令和6年9月1日現在、安来市に住んでいる18歳以上の皆様
対象数	: 2,000人
調査期間	: 令和6年9月19日～令和6年10月2日まで
調査方法	: 郵送による配布回収、WEB回答

3 回収結果

対象	対象数	郵送回収数	ウェブ回収数	合計回収数	回収率
市民調査	2,000票	716票	129票	845票	42.2%
関係団体調査	255票	108票	29票	137票	53.7%

4 報告書の見方

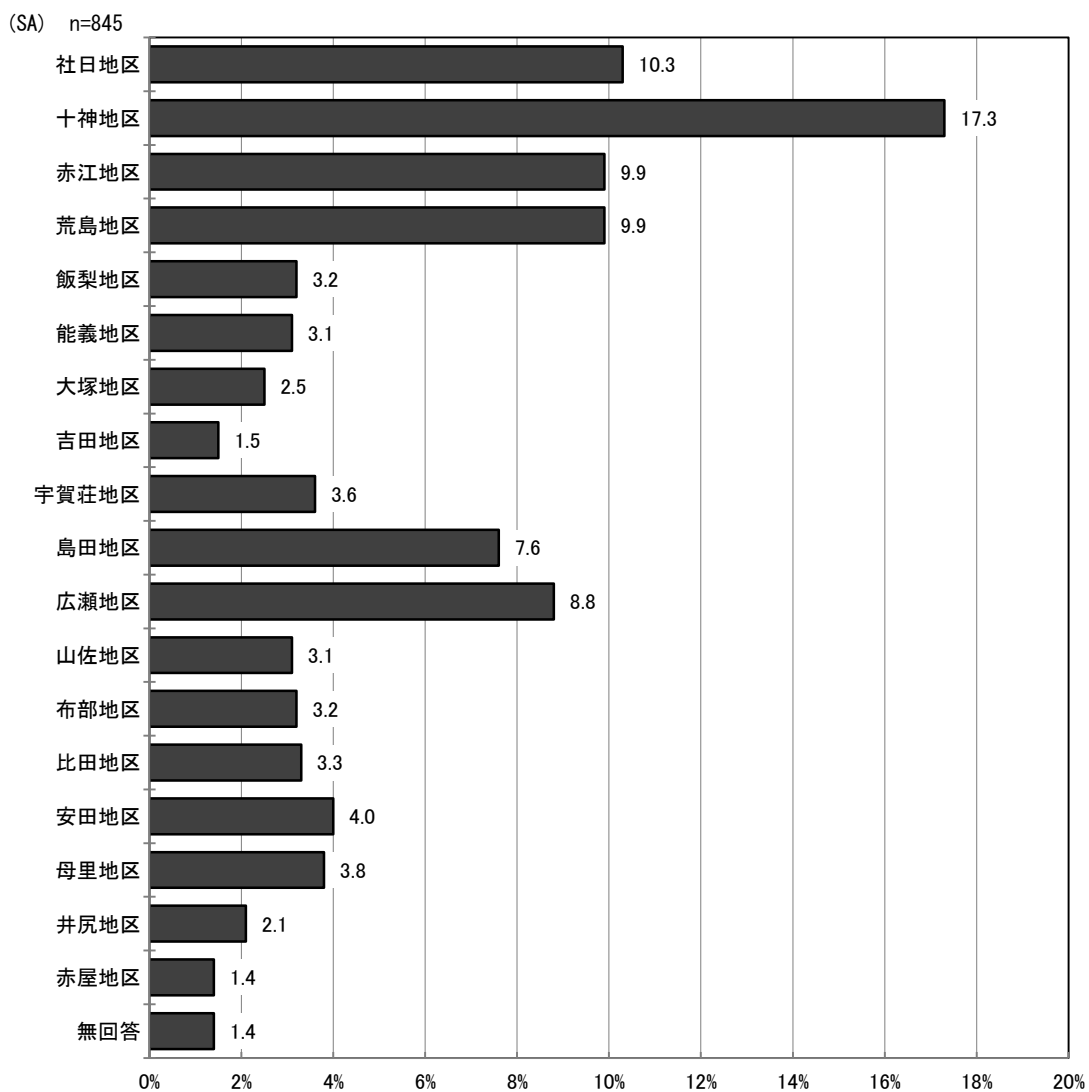
- 回答結果は、有効サンプル数に対して、少数第2位を四捨五入したそれぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフおよび表のN数は有効標本数（集計対象者総数）、(SA)は単数回答の設問、(MA)は複数回答の設問を表しています。

Ⅱ 市民調査

Ⅰ 基本的事項

問Ⅰ あなたのお住まいの地区についておうかがいします。(SA)

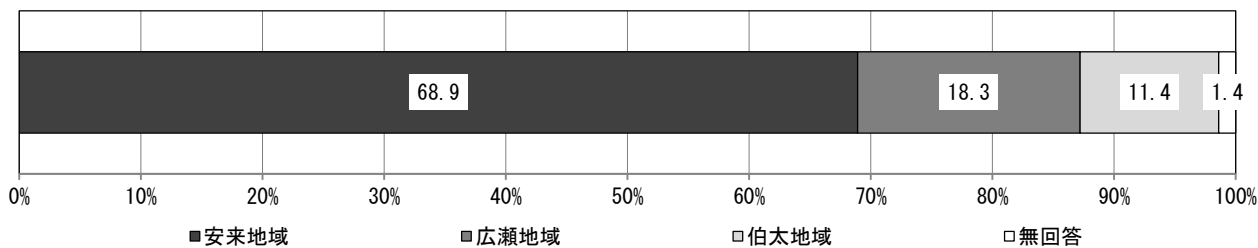
「十神地区」が17.3%で最も高くなっています。次いで「社日地区」が10.3%、「赤江地区」「荒島地区」が9.9%で続いています。



地域(SA)

「安来地域」が 68.9%を占めています。

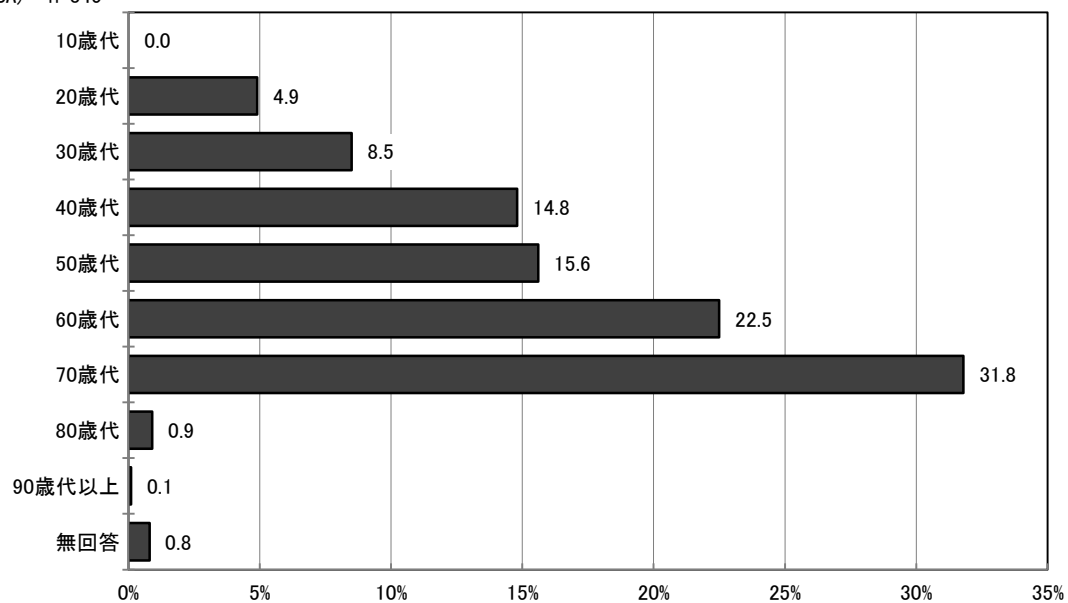
(SA) n=845



問2 あなたの年齢を教えてください。(SA)

「70 歳代」が 31.8%で最も高くなっています。次いで「60 歳代」が 22.5%、「50 歳代」が 15.6%で続いています。

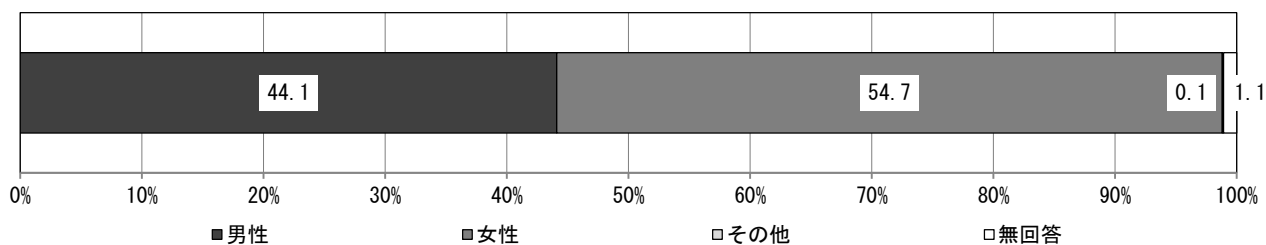
(SA) n=845



問3 あなたの性別を教えてください。(SA)

「女性」が 54.7%、「男性」が 44.1%となっています。

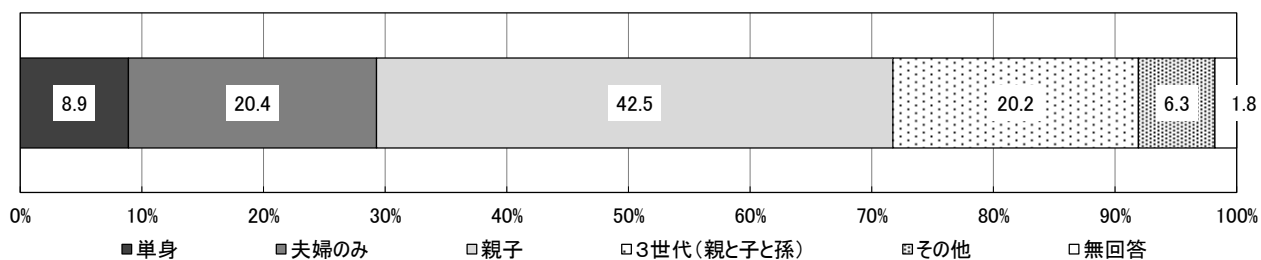
(SA) n=845



問4 あなたの家族形態を教えてください。(SA)

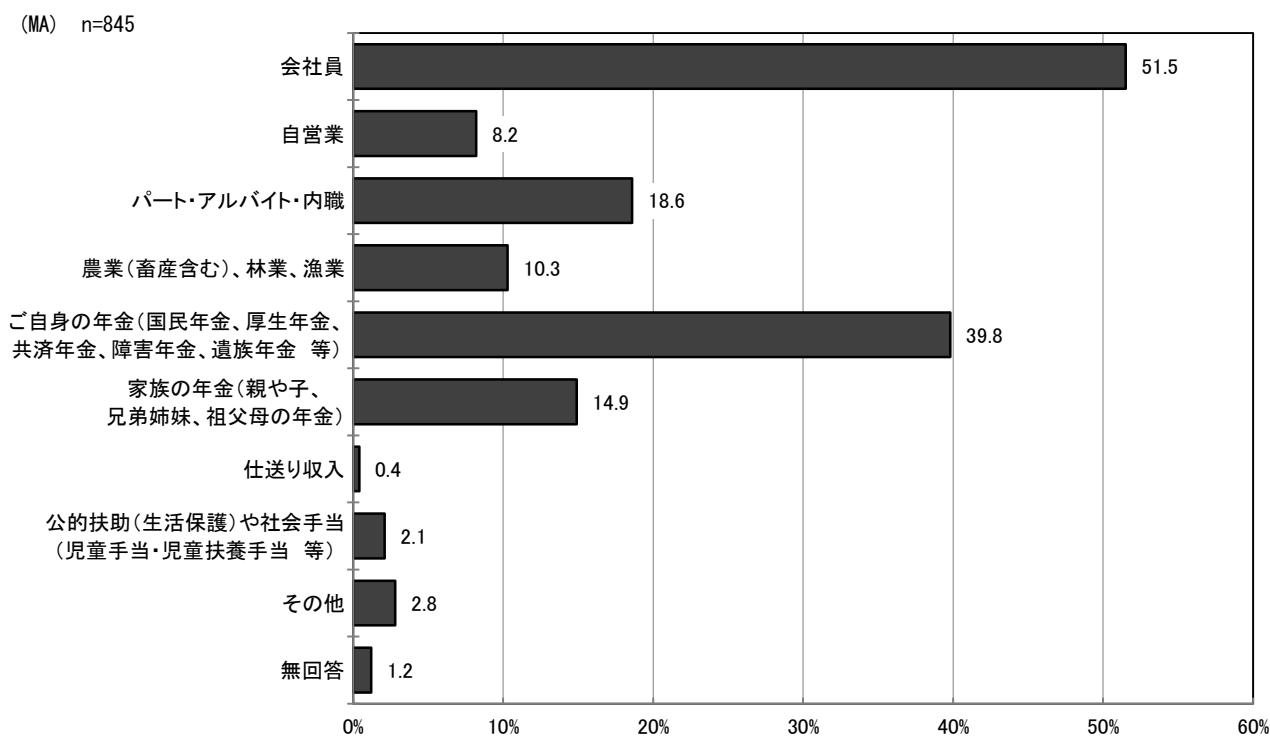
「親子」が 42.5%で最も高くなっています。次いで「夫婦のみ」が 20.4%、「3世代（親と子と孫）」が 20.2%で続いています。

(SA) n=845



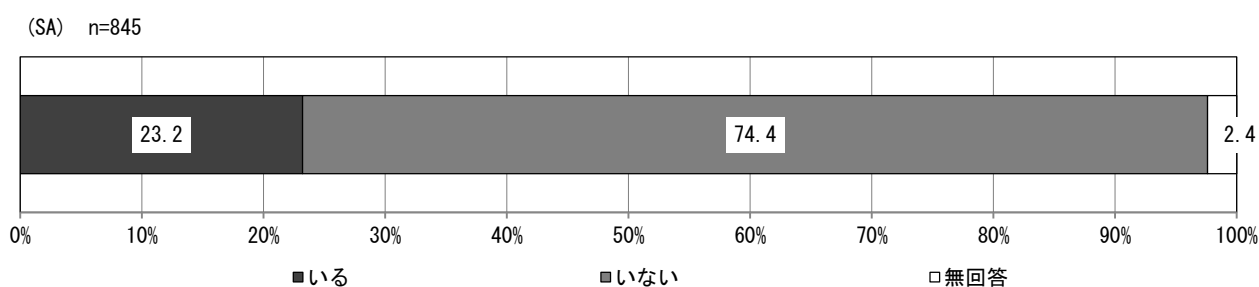
問5 あなたの世帯は、主に何で生計を立てていますか。(MA)

「会社員」が51.5%で最も高くなっています。次いで「ご自身の年金(国民年金、厚生年金、共済年金、障害年金、遺族年金 等)」が39.8%、「パート・アルバイト・内職」が18.6%が続いています。



問6 あなたの世帯で福祉的な支援が必要な方はいますか。(SA)

「いない」が74.4%を占めています。

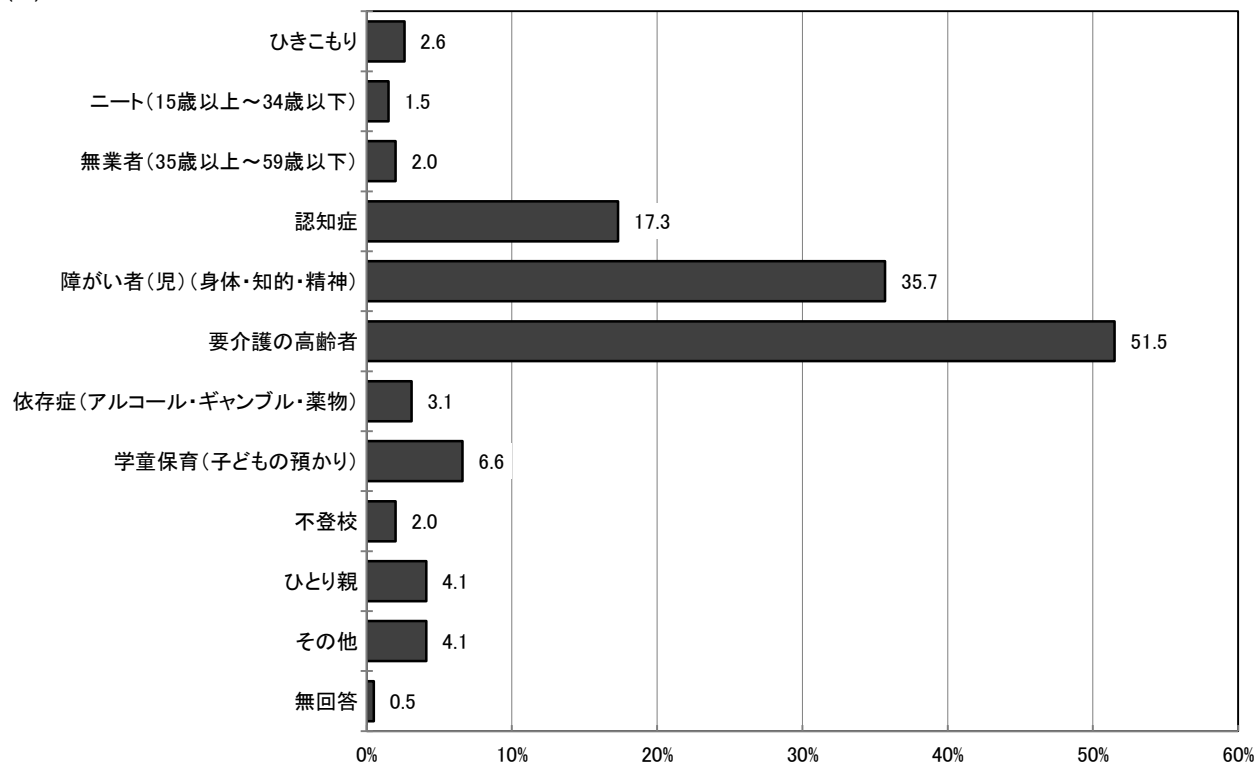


問6で「いる」と回答した方におうかがいします。

問7 福祉的な支援が必要な方の状況について教えてください。(MA)

「要介護の高齢者」が51.5%で最も高くなっています。次いで「障がい者(児)(身体・知的・精神)」が35.7%、「認知症」が17.3%が続いています。

(MA) n=196

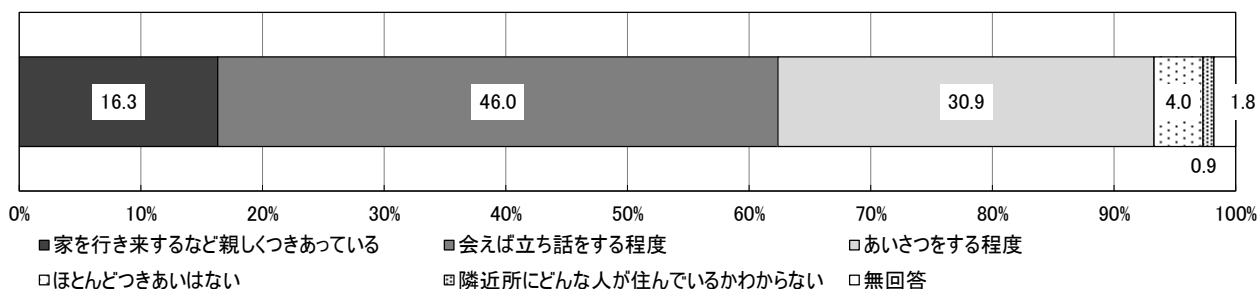


2 地域との関わりについて

問8 あなたは、隣近所の人とどの程度の関わりがありますか。(SA)

「会えば立ち話をする程度」が46.0%で最も高くなっています。次いで「あいさつをする程度」が30.9%、「家を行き来するなど親しくつきあっている」が16.3%で続いています。

(SA) n=845



<問8×年齢別クロス>

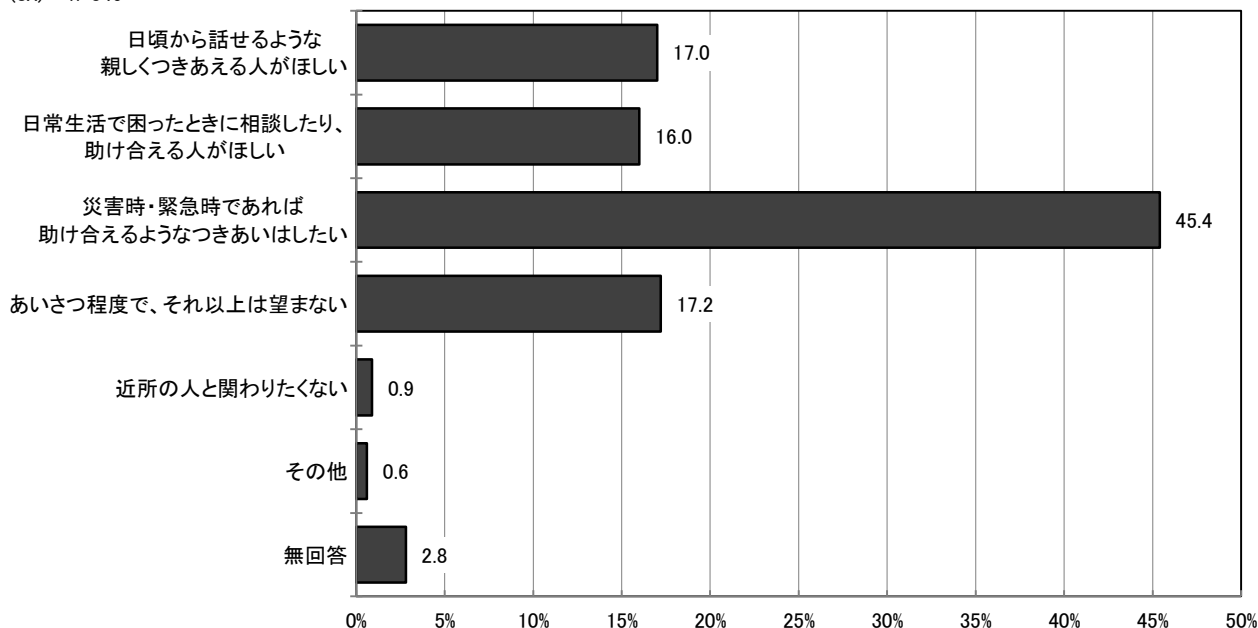
『20歳代』では、「あいさつをする程度」、『70歳以上』では「家を行き来するなど親しくつきあっている」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
家を行き来するなど親しくつきあっている	16.3	—	11.1	5.6	6.1	18.4	28.8
会えば立ち話をする程度	46.0	22.0	26.4	36.0	48.5	52.6	54.7
あいさつをする程度	30.9	68.3	50.0	51.2	40.2	24.7	11.5
ほとんどつきあいはない	4.0	7.3	8.3	4.8	4.5	2.6	2.9
隣近所にどんな人が住んでいるかわからない	0.9	2.4	4.2	0.8	0.8	1.1	—
無回答	1.8	—	—	1.6	—	0.5	2.2

問9 あなたは今後、隣近所の人とどの程度の関わっていきたいですか。(SA)

「災害時・緊急時であれば助け合えるようなつきあいはしたい」が45.4%で最も高くなっています。次いで「あいさつ程度で、それ以上は望まない」が17.2%、「日頃から話せるような親しくつきあえる人がほしい」が17.0%で続いています。

(SA) n=845



<問9×年齢別クロス>

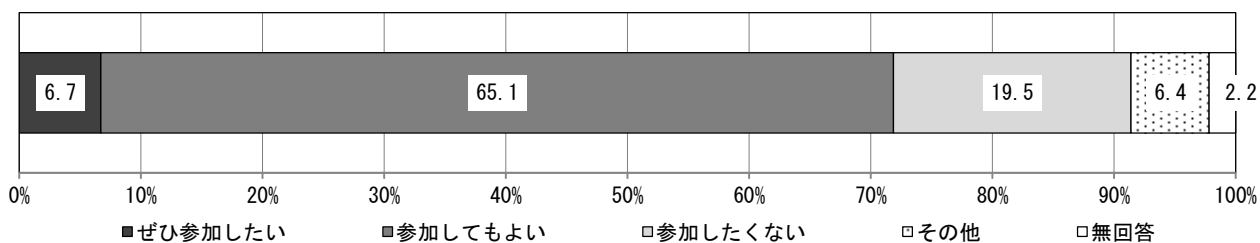
『20歳代』『30歳代』では、「あいさつ程度で、それ以上は望まない」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
日頃から話せるような親しくつきあえる人がほしい	17.0	2.4	12.5	6.4	12.1	20.0	25.9
日常生活で困ったときに相談したり、助け合える人がほしい	16.0	14.6	11.1	18.4	15.2	16.8	16.2
災害時・緊急時であれば助け合えるようなつきあいはしたい	45.4	46.3	47.2	52.8	53.0	42.6	41.0
あいさつ程度で、それ以上は望まない	17.2	34.1	27.8	18.4	18.9	17.4	10.8
近所の人と関わりたくない	0.9	—	1.4	2.4	0.8	1.6	—
その他	0.6	—	—	0.8	—	0.5	1.1
無回答	2.8	2.4	—	0.8	—	1.1	5.0

問 10 あなたは、地域の助け合い活動に参加したいと思いますか。(SA)

「参加してもよい」が 65.1%を占めています。

(SA) n=845



<問 10×年齢別クロス>

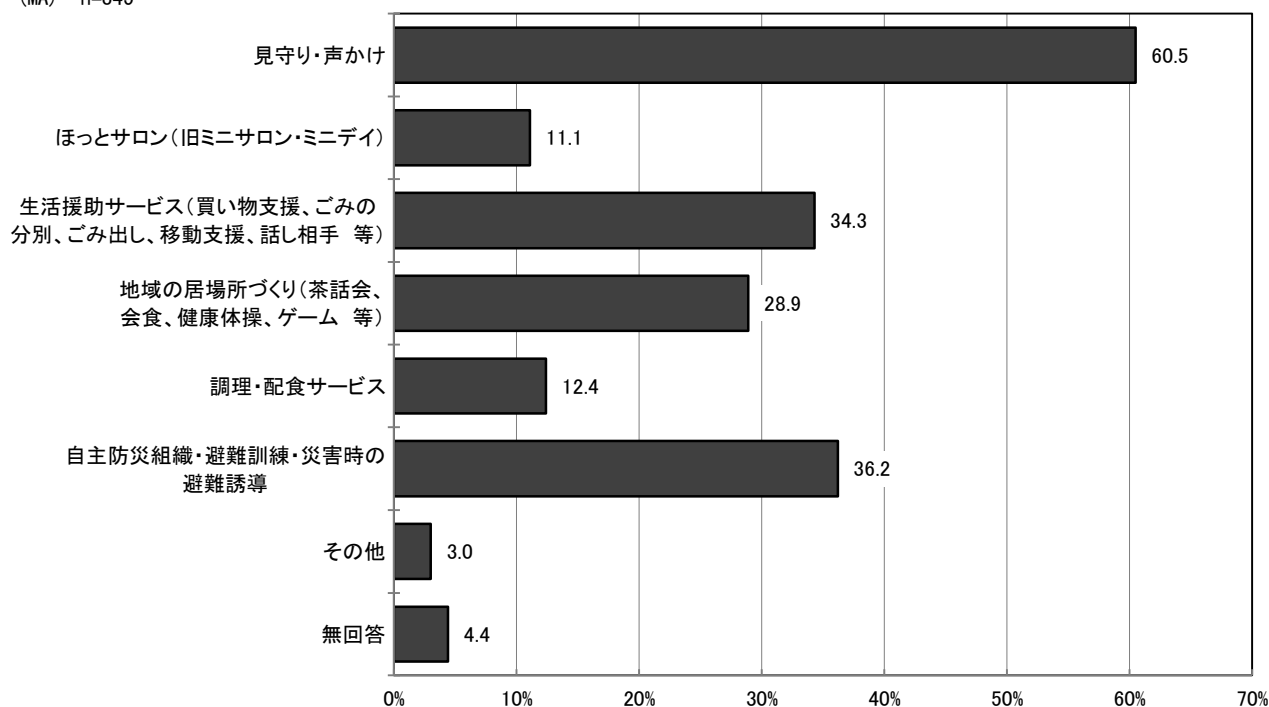
『20 歳代』では「参加してもよい」、『30 歳代』では、「参加したくない」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
ぜひ参加したい	6.7	4.9	6.9	3.2	4.5	6.8	9.7
参加してもよい	65.1	75.6	55.6	64.8	65.2	68.4	65.1
参加したくない	19.5	17.1	30.6	25.6	22.7	21.6	11.9
その他	6.4	2.4	2.8	6.4	6.8	2.6	10.4
無回答	2.2	—	4.2	—	0.8	0.5	2.9

問 11 あなたの地域で、どのような助け合い活動が必要だと思いますか。(MA)

「見守り・声かけ」が 60.5%で最も高くなっています。次いで「自主防災組織・避難訓練・災害時の避難誘導」が 36.2%、「生活援助サービス（買い物支援、ごみの分別、ごみ出し、移動支援、話し相手 等）」が 34.3%で続いています。

(MA) n=845



<問 11×地域別クロス>

『伯太地域』では、「地域の居場所づくり（茶話会、会食、健康体操、ゲーム 等）」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	安来地域 n=582	広瀬地域 n=155	伯太地域 n=96
見守り・声かけ	60.5	60.0	63.2	63.5
ほっとサロン（旧ミニサロン・ミニデイ）	11.1	10.5	13.5	12.5
生活援助サービス（買い物支援、ごみの分別、ごみ出し、移動支援、話し相手 等）	34.3	34.7	31.0	36.5
地域の居場所づくり（茶話会、会食、健康体操、ゲーム 等）	28.9	25.3	34.2	44.8
調理・配食サービス	12.4	12.2	9.0	19.8
自主防災組織・避難訓練・災害時の避難誘導	36.2	38.1	33.5	33.3
その他	3.0	3.4	2.6	1.0
無回答	4.4	4.0	3.2	2.1

<問 11×年齢別クロス>

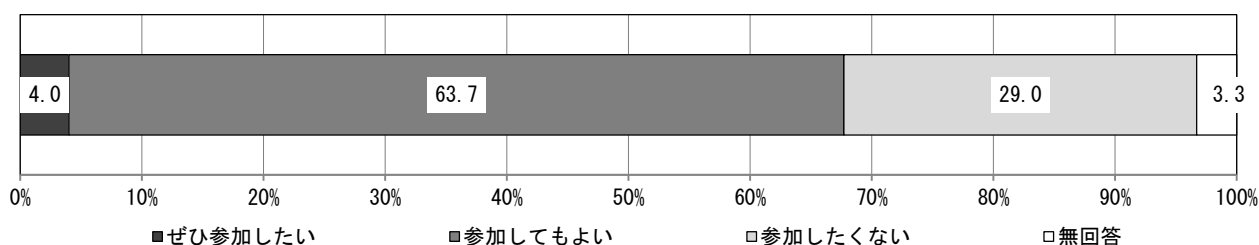
『20 歳代』では「地域の居場所づくり（茶話会、会食、健康体操、ゲーム 等）」「調理・配食サービス」、
『40 歳代』では、「自主防災組織・避難訓練・災害時の避難誘導」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
見守り・声かけ	60.5	41.5	62.5	58.4	65.9	62.6	60.8
ほっとサロン（旧ミニサロン・ミニデイ）	11.1	7.3	5.6	5.6	10.6	10.5	16.5
生活援助サービス（買い物支援、ごみの分別、ごみ出し、移動支援、話し相手 等）	34.3	43.9	43.1	31.2	41.7	34.7	28.8
地域の居場所づくり（茶話会、会食、健康体操、ゲーム 等）	28.9	41.5	29.2	23.2	22.7	30.0	32.0
調理・配食サービス	12.4	26.8	16.7	15.2	12.1	12.6	8.3
自主防災組織・避難訓練・災害時の避難誘導	36.2	26.8	40.3	50.4	34.8	37.4	30.9
その他	3.0	4.9	4.2	3.2	1.5	2.1	3.6
無回答	4.4	2.4	4.2	2.4	2.3	4.2	4.7

問 12 あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(SA)

「参加してもよい」が 63.7%を占めています。

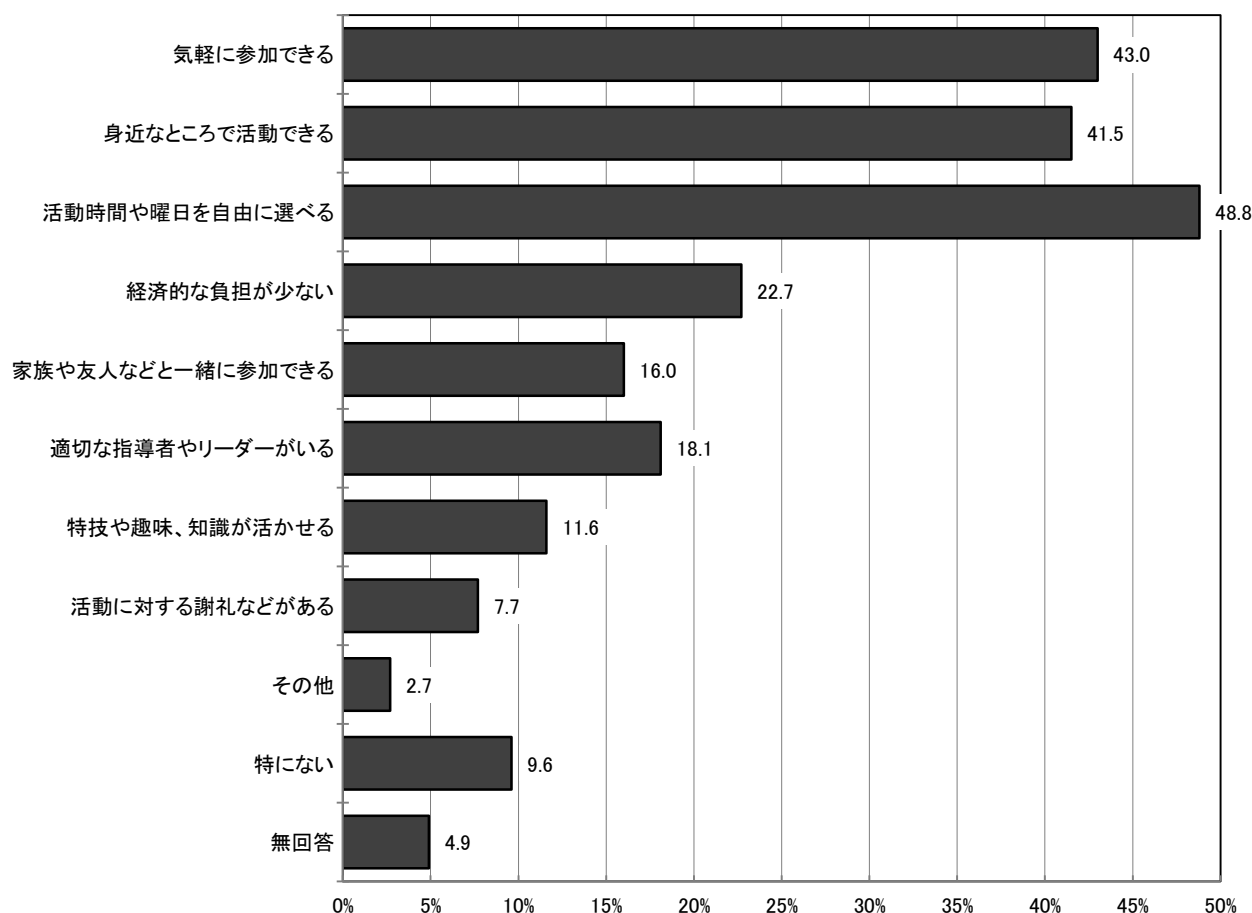
(SA) n=845



問 13 どのような条件であれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(MA)

「活動時間や曜日を自由選べる」が 48.8%で最も高くなっています。次いで「気軽に参加できる」が 43.0%、「身近なところで活動できる」が 41.5%で続いています。

(MA) n=845



<問 13×年齢別クロス>

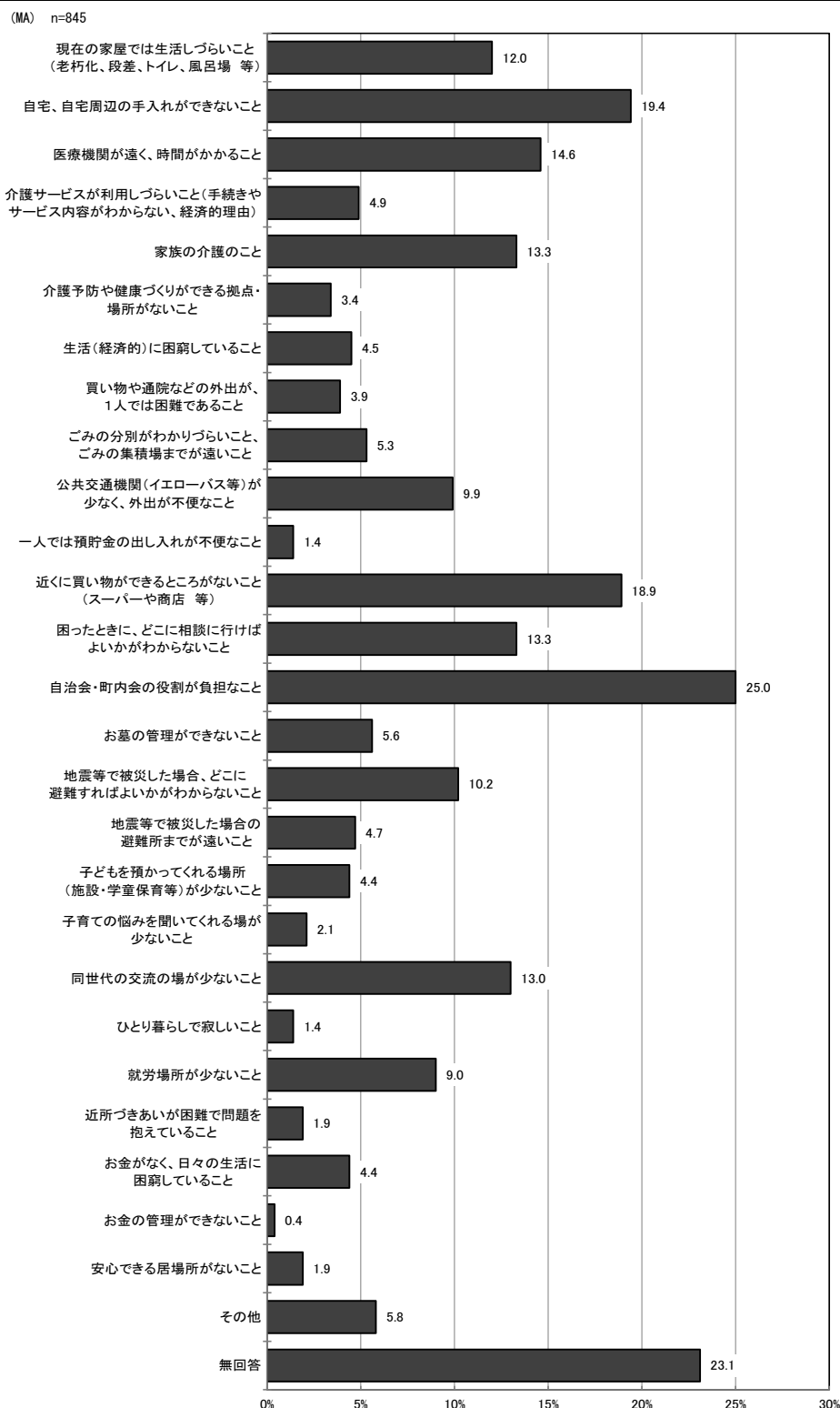
『20 歳代』では「活動時間や曜日を自由に選べる」「経済的な負担が少ない」「特技や趣味、知識が活かせる」「活動に対する謝礼などがある」、『30 歳代』では、「経済的な負担が少ない」「家族や友人などと一緒に参加できる」「活動に対する謝礼などがある」、『40 歳代』では「家族や友人などと一緒に参加できる」「活動に対する謝礼などがある」、『50 歳代』では「活動時間や曜日を自由に選べる」、『70 歳以上』では「身近なところで活動できる」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
気軽に参加できる	43.0	46.3	34.7	47.2	43.9	39.5	45.3
身近なところで活動できる	41.5	14.6	33.3	34.4	41.7	39.5	53.2
活動時間や曜日を自由に選べる	48.8	58.5	52.8	42.4	61.4	55.8	39.2
経済的な負担が少ない	22.7	31.7	41.7	27.2	25.0	22.6	14.0
家族や友人などと一緒に参加できる	16.0	17.1	26.4	26.4	6.1	11.6	16.5
適切な指導者やリーダーがいる	18.1	17.1	19.4	13.6	25.8	18.4	16.2
特技や趣味、知識が活かせる	11.6	22.0	15.3	10.4	8.3	14.7	9.4
活動に対する謝礼などがある	7.7	19.5	22.2	18.4	4.5	4.7	1.1
その他	2.7	—	4.2	1.6	3.0	1.1	4.3
特にない	9.6	7.3	8.3	8.8	9.8	10.5	10.1
無回答	4.9	—	—	0.8	1.5	6.3	7.2

3 生活上の困りごとなどについて

問 14 生活する上で、困りごとや不安なことはありますか。(MA)

「自治会・町内会の役割が負担なこと」が 25.0%で最も高くなっています。次いで「自宅、自宅周辺の手入れができないこと」が 19.4%、「近くに買い物ができるところがないこと（スーパーや商店 等）」が 18.9%で続いています。



<問 14×地域別クロス>

『広瀬地域』では、「医療機関が遠く、時間がかかること」、『伯太地域』では「医療機関が遠く、時間がかかること」「近くに買い物ができるところがないこと（スーパーや商店 等）」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	安来地域 n=582	広瀬地域 n=155	伯太地域 n=96
現在の家屋では生活しづらいこと（老朽化、段差、トイレ、風呂場 等）	12.0	11.0	12.9	15.6
自宅、自宅周辺の手入れができないこと	19.4	18.4	24.5	17.7
医療機関が遠く、時間がかかること	14.6	10.5	24.5	25.0
介護サービスが利用しづらいこと（手続きやサービス内容がわからない、経済的理由）	4.9	5.3	3.9	2.1
家族の介護のこと	13.3	13.2	14.8	10.4
介護予防や健康づくりができる拠点・場所がないこと	3.4	3.3	3.2	4.2
生活（経済的）に困窮していること	4.5	3.6	4.5	9.4
買い物や通院などの外出が、1人では困難であること	3.9	3.3	4.5	6.3
ごみの分別がわかりづらいこと、ごみの集積場までが遠いこと	5.3	5.8	1.9	6.3
公共交通機関（イエローバス等）が少なく、外出が不便なこと	9.9	9.5	10.3	12.5
一人では預貯金の出し入れが不便なこと	1.4	1.4	1.3	2.1
近くに買い物ができるところがないこと（スーパーや商店 等）	18.9	16.5	18.7	34.4
困ったときに、どこに相談に行けばよいかわからないこと	13.3	13.7	12.3	9.4
自治会・町内会の役割が負担なこと	25.0	23.5	28.4	29.2
お墓の管理ができないこと	5.6	5.7	3.9	5.2
地震等で被災した場合、どこに避難すればよいかわからないこと	10.2	9.8	12.3	9.4
地震等で被災した場合の避難所までが遠いこと	4.7	5.2	3.2	5.2
子どもを預かってくれる場所（施設・学童保育等）が少ないこと	4.4	5.0	3.2	3.1
子育ての悩みを聞いてくれる場が少ないこと	2.1	2.6	0.6	2.1
同世代の交流の場が少ないこと	13.0	12.2	16.1	12.5
ひとり暮らしで寂しいこと	1.4	1.4	1.9	1.0
就労場所が少ないこと	9.0	7.2	14.2	11.5
近所づきあいが困難で問題を抱えていること	1.9	2.2	0.6	1.0
お金がなく、日々の生活に困窮していること	4.4	3.6	4.5	7.3
お金の管理ができないこと	0.4	0.5	—	—
安心できる居場所がないこと	1.9	1.9	2.6	1.0
その他	5.8	7.2	2.6	3.1
無回答	23.1	25.1	17.4	20.8

<問 14×年齢別クロス>

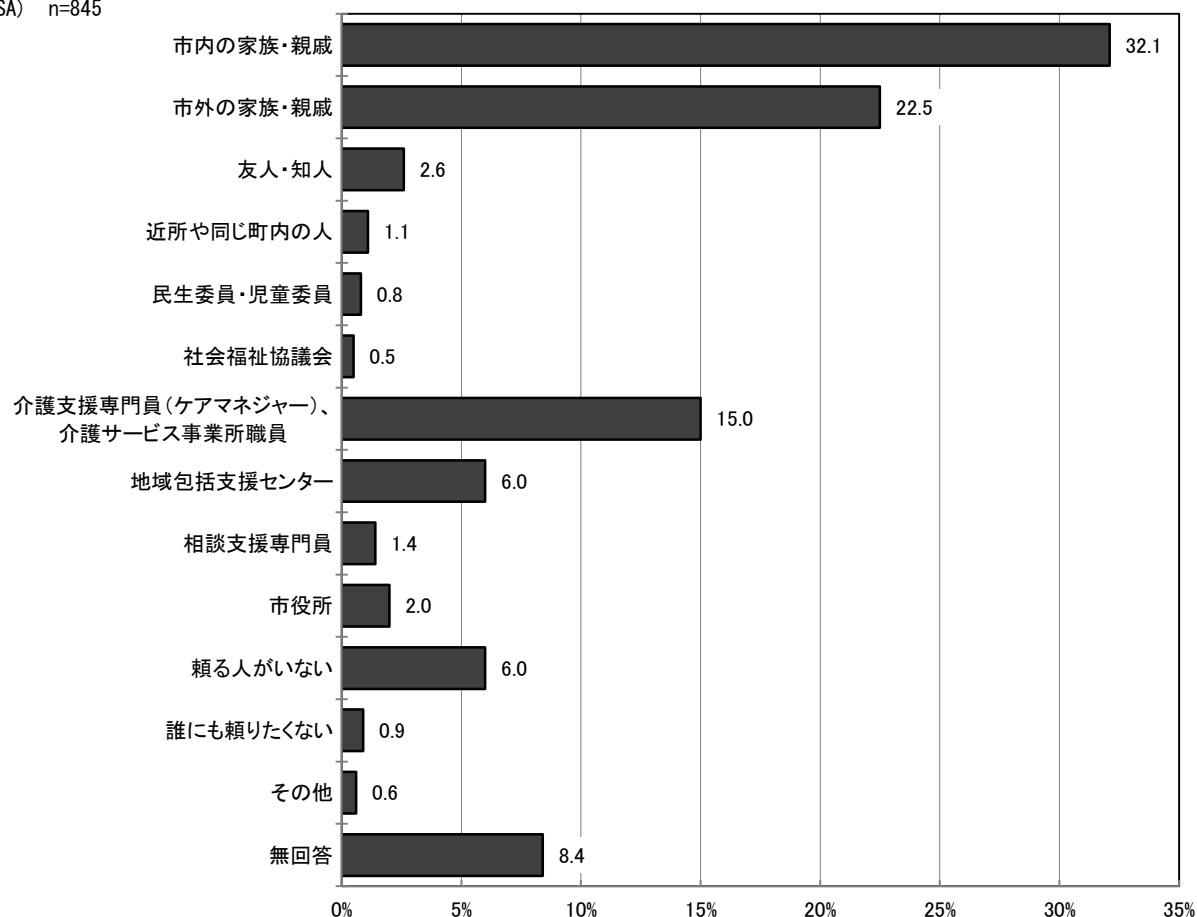
『20 歳代』では「公共交通機関（イエローバス等）が少なく、外出が不便なこと」「同世代の交流の場が少ないこと」「就労場所が少ないこと」、『30 歳代』では、「子どもを預かってくれる場所（施設・学童保育等）が少ないこと」「子育ての悩みを聞いてくれる場が少ないこと」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
現在の家屋では生活しづらいこと（老朽化、段差、トイレ、風呂場 等）	12.0	7.3	15.3	10.4	15.2	12.1	10.8
自宅、自宅周辺の手入れができないこと	19.4	19.5	19.4	22.4	16.7	16.8	21.2
医療機関が遠く、時間がかかること	14.6	12.2	11.1	11.2	15.2	14.2	17.6
介護サービスが利用しづらいこと（手続きやサービス内容がわからない、経済的理由）	4.9	2.4	6.9	4.8	5.3	4.7	4.3
家族の介護のこと	13.3	12.2	18.1	17.6	18.2	13.7	7.2
介護予防や健康づくりができる拠点・場所がないこと	3.4	2.4	2.8	0.8	3.0	4.2	4.7
生活（経済的）に困窮していること	4.5	9.8	12.5	8.0	3.0	1.6	2.9
買い物や通院などの外出が、1人では困難であること	3.9	4.9	2.8	1.6	4.5	3.7	5.0
ごみの分別がわかりづらいこと、ごみの集積場までが遠いこと	5.3	14.6	13.9	6.4	3.8	4.2	2.9
公共交通機関（イエローバス等）が少なく、外出が不便なこと	9.9	26.8	11.1	10.4	7.6	9.5	8.3
一人では預貯金のおし入れが不便なこと	1.4	—	—	2.4	—	0.5	2.9
近くに買い物ができるところがないこと（スーパーや商店 等）	18.9	24.4	16.7	16.0	14.4	15.8	24.5
困ったときに、どこに相談に行けばよいかわからないこと	13.3	17.1	15.3	11.2	10.6	13.2	14.0
自治会・町内会の役割が負担なこと	25.0	17.1	25.0	32.8	28.0	22.1	23.4
お墓の管理ができないこと	5.6	4.9	4.2	8.8	6.8	5.3	4.0
地震等で被災した場合、どこに避難すればよいかわからないこと	10.2	12.2	6.9	8.8	9.8	7.4	13.7
地震等で被災した場合の避難所までが遠いこと	4.7	4.9	4.2	2.4	5.3	4.2	6.1
子どもを預かってくれる場所（施設・学童保育等）が少ないこと	4.4	7.3	22.2	8.8	1.5	2.6	—
子育ての悩みを聞いてくれる場が少ないこと	2.1	—	13.9	4.0	0.8	0.5	0.4
同世代の交流の場が少ないこと	13.0	31.7	20.8	16.0	6.1	13.7	9.7
ひとり暮らしで寂しいこと	1.4	—	1.4	—	0.8	2.1	2.2
就労場所が少ないこと	9.0	22.0	13.9	13.6	10.6	10.5	2.2
近所づきあいが困難で問題を抱えていること	1.9	—	2.8	1.6	3.0	2.1	1.1
お金がなく、日々の生活に困窮していること	4.4	4.9	9.7	6.4	2.3	4.2	3.2
お金の管理ができないこと	0.4	—	—	—	—	1.1	0.4
安心できる居場所がないこと	1.9	2.4	—	3.2	2.3	2.6	1.1
その他	5.8	7.3	5.6	8.8	5.3	7.9	3.2
無回答	23.1	14.6	15.3	14.4	21.2	25.8	29.1

問 15 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなど、日常生活が不自由になったとき、同居の家族以外で主に誰を頼りますか。(SA)

「市内の家族・親戚」が 32.1%で最も高くなっています。次いで「市外の家族・親戚」が 22.5%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護サービス事業所職員」が 15.0%で続いています。

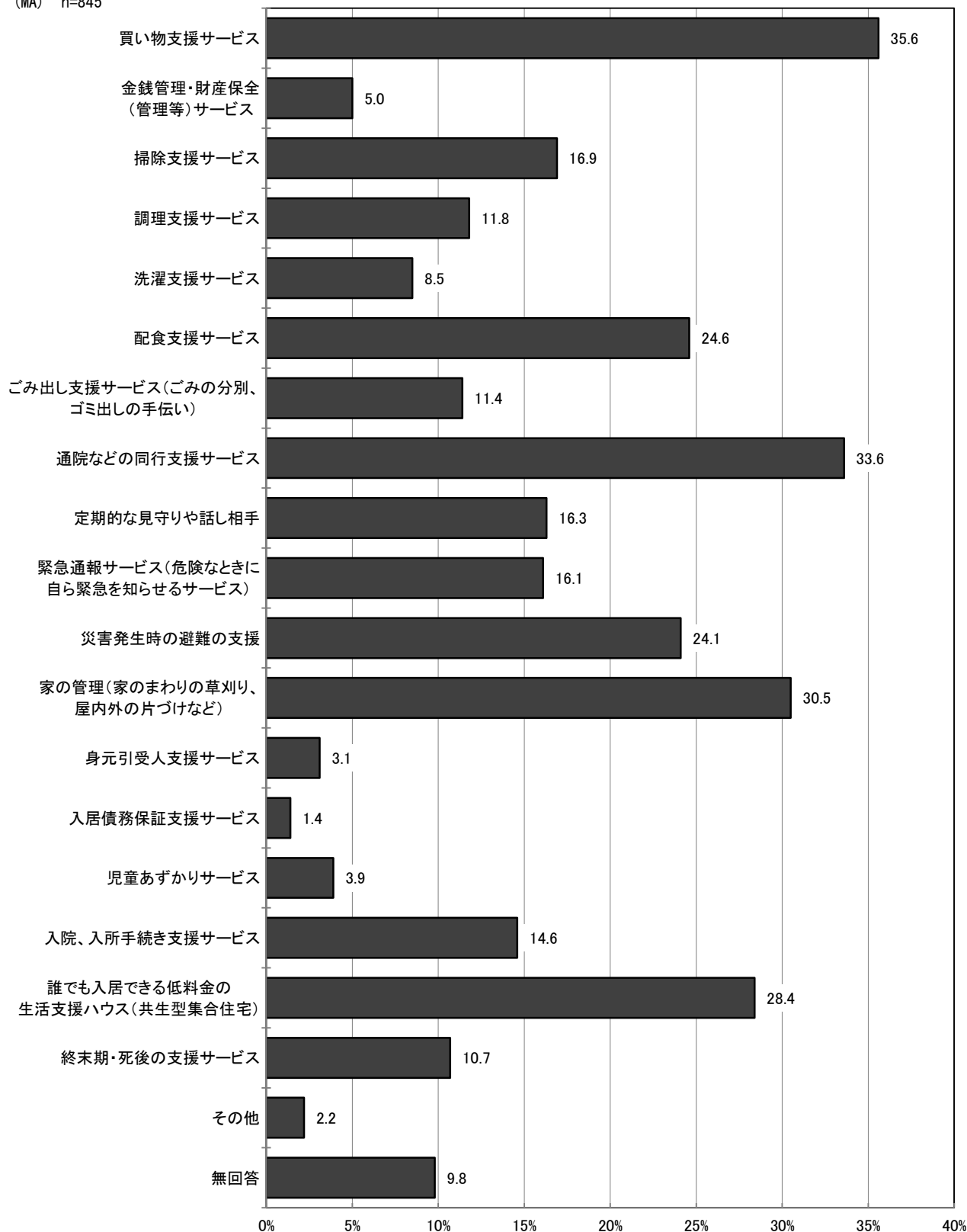
(SA) n=845



問 16 あなたや同居している家族が病気や要介護状態になるなどして、日常生活が不自由になったとき、どのような生活支援サービスを希望しますか。(MA)

「買い物支援サービス」が 35.6%で最も高くなっています。次いで「通院などの同行支援サービス」が 33.6%、「家の管理（家のまわりの草刈り、屋内外の片づけなど）」が 30.5%で続いています。

(MA) n=845



<問 16×地域別クロス>

『広瀬地域』では、「家の管理（家のまわりの草刈り、屋内外の片づけなど）」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	安来地域 n=582	広瀬地域 n=155	伯太地域 n=96
買い物支援サービス	35.6	34.5	34.2	44.8
金銭管理・財産保全（管理等）サービス	5.0	5.3	4.5	4.2
掃除支援サービス	16.9	16.3	18.1	18.8
調理支援サービス	11.8	11.9	12.9	11.5
洗濯支援サービス	8.5	8.1	8.4	10.4
配食支援サービス	24.6	24.7	21.3	31.3
ごみ出し支援サービス（ごみの分別、ゴミ出しの手伝い）	11.4	11.3	9.7	12.5
通院などの同行支援サービス	33.6	34.4	32.3	32.3
定期的な見守りや話し相手	16.3	14.9	21.9	15.6
緊急通報サービス（危険なときに自ら緊急を知らせるサービス）	16.1	15.6	21.3	11.5
災害発生時の避難の支援	24.1	23.9	26.5	24.0
家の管理（家のまわりの草刈り、屋内外の片づけなど）	30.5	27.8	41.9	28.1
身元引受人支援サービス	3.1	3.4	1.3	4.2
入居債務保証支援サービス	1.4	1.5	1.9	－
児童あずかりサービス	3.9	4.6	1.9	3.1
入院、入所手続き支援サービス	14.6	14.1	12.3	21.9
誰でも入居できる低料金の生活支援ハウス（共生型集合住宅）	28.4	27.5	31.6	29.2
終末期・死後の支援サービス	10.7	10.5	11.0	10.4
その他	2.2	2.9	－	2.1
無回答	9.8	9.6	9.0	11.5

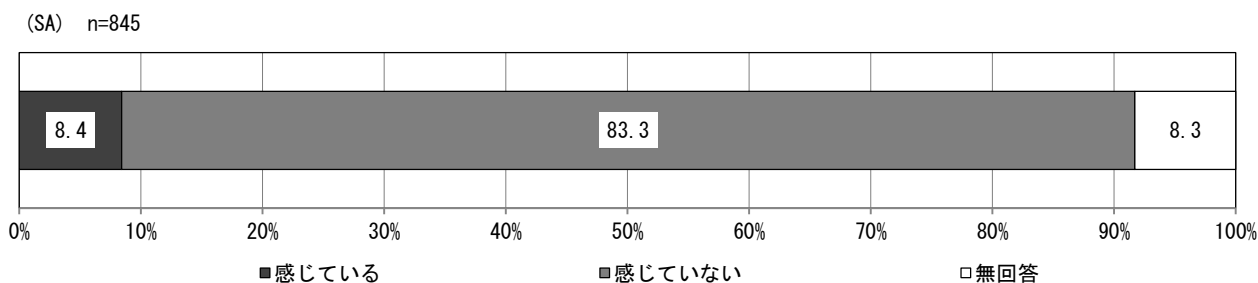
<問 16×年齢別クロス>

『20 歳代』では「買い物支援サービス」「調理支援サービス」「定期的な見守りや話し相手」、『30 歳代』では、「金銭管理・財産保全（管理等）サービス」「児童あずかりサービス」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
買い物支援サービス	35.6	46.3	38.9	32.8	33.3	35.3	36.0
金銭管理・財産保全（管理等）サービス	5.0	9.8	18.1	8.8	3.8	2.6	1.4
掃除支援サービス	16.9	17.1	25.0	20.8	19.7	14.7	13.7
調理支援サービス	11.8	22.0	15.3	17.6	12.1	8.9	9.0
洗濯支援サービス	8.5	7.3	16.7	12.0	7.6	7.4	6.1
配食支援サービス	24.6	17.1	20.8	24.8	33.3	25.8	21.9
ごみ出し支援サービス（ごみの分別、ゴミ出しの手伝い）	11.4	9.8	13.9	14.4	15.2	7.9	10.1
通院などの同行支援サービス	33.6	39.0	30.6	37.6	36.4	32.1	31.7
定期的な見守りや話し相手	16.3	29.3	11.1	16.8	12.1	15.3	18.0
緊急通報サービス（危険なときに自ら緊急を知らせるサービス）	16.1	22.0	15.3	13.6	18.2	12.6	18.0
災害発生時の避難の支援	24.1	31.7	19.4	18.4	25.0	26.3	25.2
家の管理（家のまわりの草刈り、屋内外の片づけなど）	30.5	14.6	27.8	34.4	25.8	33.7	31.7
身元引受人支援サービス	3.1	2.4	6.9	4.0	1.5	2.6	2.9
入居債務保証支援サービス	1.4	—	1.4	2.4	2.3	2.1	0.4
児童あずかりサービス	3.9	4.9	25.0	8.0	—	1.1	0.4
入院、入所手続き支援サービス	14.6	17.1	18.1	14.4	18.9	15.3	11.2
誰でも入居できる低料金の生活支援ハウス（共生型集合住宅）	28.4	26.8	31.9	29.6	33.3	22.6	29.1
終末期・死後の支援サービス	10.7	14.6	13.9	16.0	12.9	8.4	7.2
その他	2.2	2.4	—	3.2	3.8	1.6	2.2
無回答	9.8	2.4	2.8	4.0	6.8	12.6	14.4

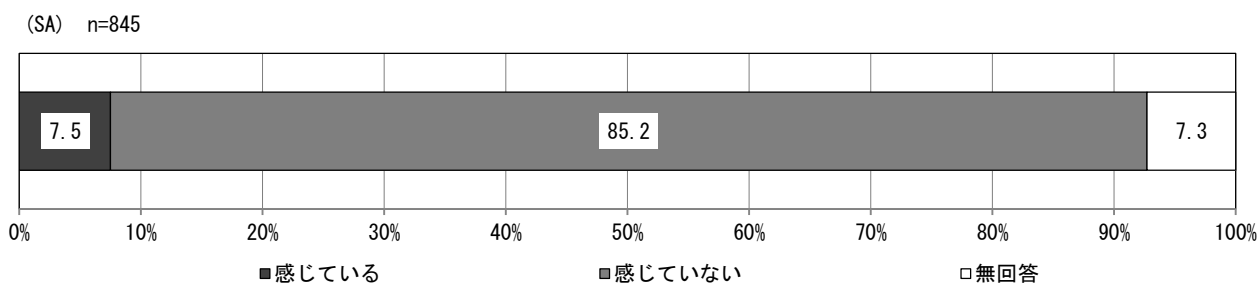
問 17 賃貸住宅への入居、病院への入院、施設への入所の際に高齢であることを理由に必要な身元保証人など頼れる人がなく不安を感じていますか。(SA)

「感じていない」が 83.3%を占めています。



問 19 身寄りがない(頼れる人がいない)ため 葬儀や家(財産処分)のことについて不安を感じていますか。(SA)

「感じていない」が 85.2%を占めています。

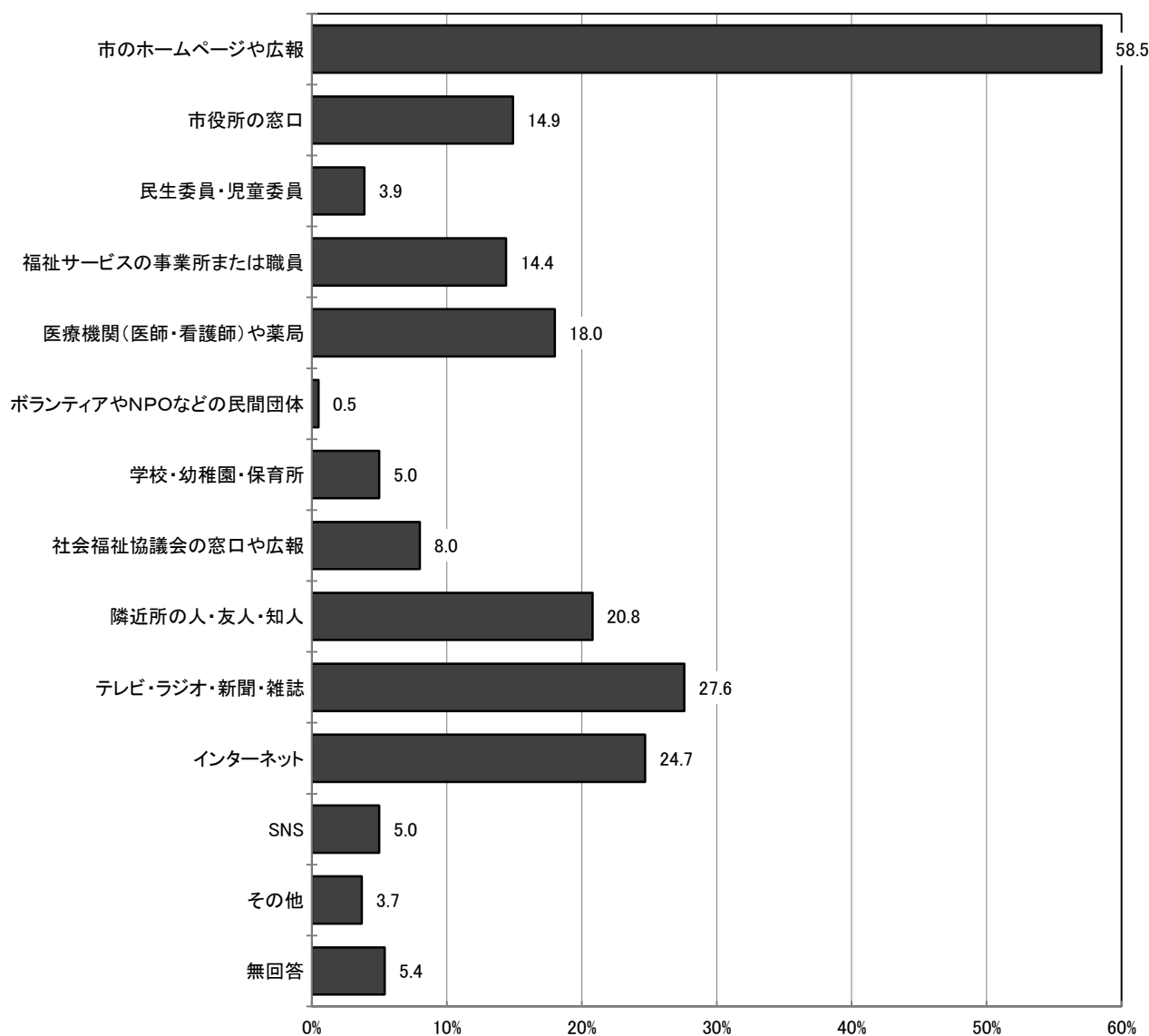


4 情報の入手先について

問 21 福祉サービス情報はどこから入手していますか。(MA)

「市のホームページや広報」が 58.5%で最も高くなっています。次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 27.6%、「インターネット」が 24.7%が続いています。

(MA) n=845



<問 21×年齢別クロス>

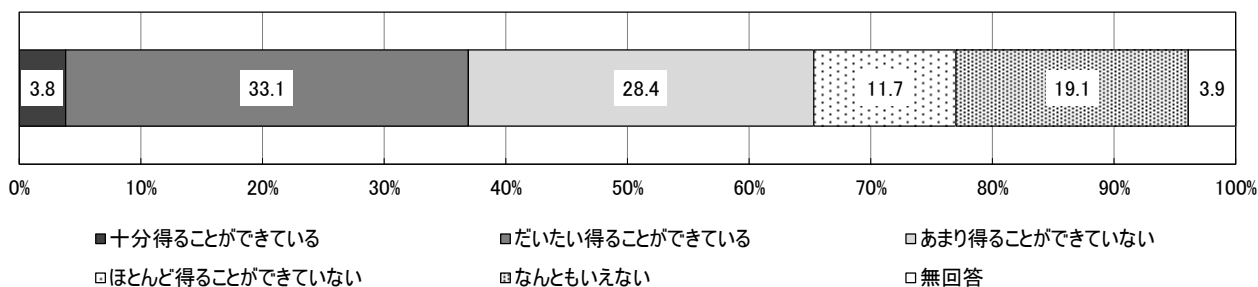
『20 歳代』では「SNS」、『30 歳代』では、「学校・幼稚園・保育所」、『40 歳代』では「学校・幼稚園・保育所」「インターネット」、『50 歳代』では「インターネット」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
市のホームページや広報	58.5	41.5	68.1	65.6	53.8	57.9	57.9
市役所の窓口	14.9	12.2	9.7	13.6	18.2	16.3	14.4
民生委員・児童委員	3.9	—	—	—	2.3	5.3	6.8
福祉サービスの事業所または職員	14.4	2.4	9.7	11.2	12.1	20.0	16.5
医療機関(医師・看護師)や薬局	18.0	19.5	9.7	12.8	16.7	21.1	20.5
ボランティアやNPOなどの民間団体	0.5	2.4	2.8	—	—	—	0.4
学校・幼稚園・保育所	5.0	—	19.4	15.2	3.8	—	1.1
社会福祉協議会の窓口や広報	8.0	4.9	1.4	4.8	6.1	10.0	11.2
隣近所の人・友人・知人	20.8	17.1	9.7	18.4	15.2	19.5	28.8
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	27.6	19.5	19.4	20.0	19.7	31.6	34.9
インターネット	24.7	34.1	34.7	36.8	39.4	20.0	11.9
SNS	5.0	26.8	18.1	6.4	5.3	1.1	0.4
その他	3.7	—	1.4	4.0	7.6	4.2	2.5
無回答	5.4	2.4	1.4	4.0	6.1	5.3	7.6

問 22 あなたは福祉サービスの情報を十分得ることができていると思いますか。(SA)

「だいたい得ることができている」が 33.1%で最も高くなっています。次いで「あまり得ることができていない」が 28.4%、「なんともいえない」が 19.1%で続いています。

(SA) n=845



<問 22×年齢別クロス>

『20 歳代』では「あまり得ることができていない」と「ほとんど得ることができていない」を合わせた割合が高くなっています。

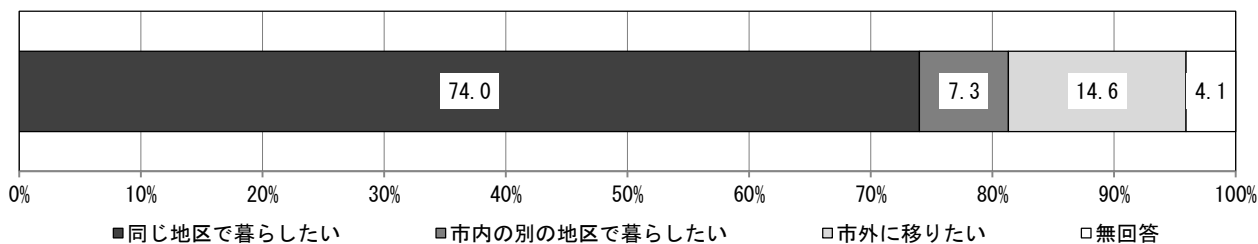
	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
十分得ることができている	3.8	—	6.9	1.6	3.8	4.7	4.0
だいたい得ることができている	33.1	12.2	29.2	33.6	33.3	32.1	37.4
あまり得ることができていない	28.4	29.3	30.6	25.6	21.2	35.3	28.1
ほとんど得ることができていない	11.7	26.8	18.1	16.0	17.4	10.0	4.3
なんともいえない	19.1	29.3	15.3	18.4	20.5	14.2	21.2
無回答	3.9	2.4	—	4.8	3.8	3.7	5.0

5 今後の住まいの意向について

問 23 現在お住まいの地区に将来も住み続けたいですか。(SA)

「同じ地区で暮らしたい」が74.0%を占めています。

(SA) n=845



<問 23×年齢別クロス>

『20 歳代』では「市内の別の地区で暮らしたい」、『70 歳以上』では「同じ地区で暮らしたい」の割合が高くなっています。

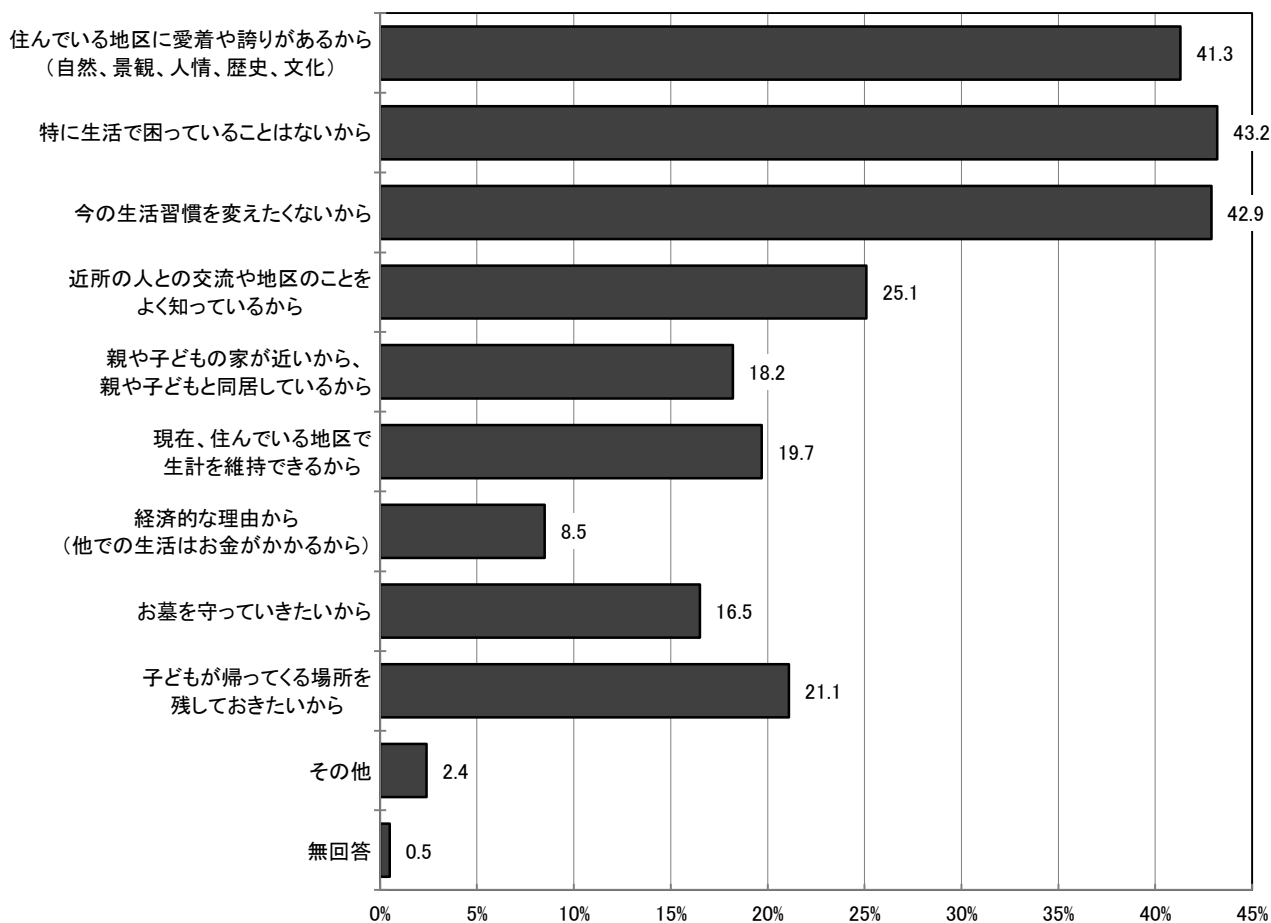
	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
同じ地区で暮らしたい	74.0	51.2	66.7	68.0	65.9	74.7	84.9
市内の別の地区で暮らしたい	7.3	22.0	6.9	8.8	11.4	5.8	4.0
市外に移りたい	14.6	22.0	23.6	20.8	18.9	13.7	6.8
無回答	4.1	4.9	2.8	2.4	3.8	5.8	4.3

問23で「同じ地区で暮らしたい」と回答した方におうかがいします。

問 24 現在お住まいの地区に住み続けたい理由は何ですか。(MA)

「特に生活で困っていることはないから」が43.2%で最も高くなっています。次いで「今の生活習慣を変えたくないから」が42.9%、「住んでいる地区に愛着や誇りがあるから（自然、景観、人情、歴史、文化）」が41.3%で続いています。

(MA) n=625



<問 24×地域別クロス>

『広瀬地域』『伯太地域』では、「住んでいる地区に愛着や誇りがあるから（自然、景観、人情、歴史、文化）」の割合が高くなっています。

	全体 n=625	安来地域 n=434	広瀬地域 n=112	伯太地域 n=71
住んでいる地区に愛着や誇りがあるから（自然、景観、人情、歴史、文化）	41.3	36.2	51.8	57.7
特に生活で困っていることはないから	43.2	47.9	33.0	28.2
今の生活習慣を変えたくないから	42.9	42.9	43.8	46.5
近所の人との交流や地区のことをよく知っているから	25.1	24.0	30.4	25.4
親や子どもの家が近いから、親や子どもと同居しているから	18.2	19.1	11.6	19.7
現在、住んでいる地区で生計を維持できるから	19.7	20.5	19.6	15.5
経済的な理由から（他での生活はお金がかかるから）	8.5	7.4	8.9	14.1
お墓を守っていききたいから	16.5	12.9	23.2	25.4
子どもが帰ってくる場所を残しておきたいから	21.1	21.2	19.6	21.1
その他	2.4	3.0	1.8	—
無回答	0.5	0.2	0.9	1.4

<問 24×年齢別クロス>

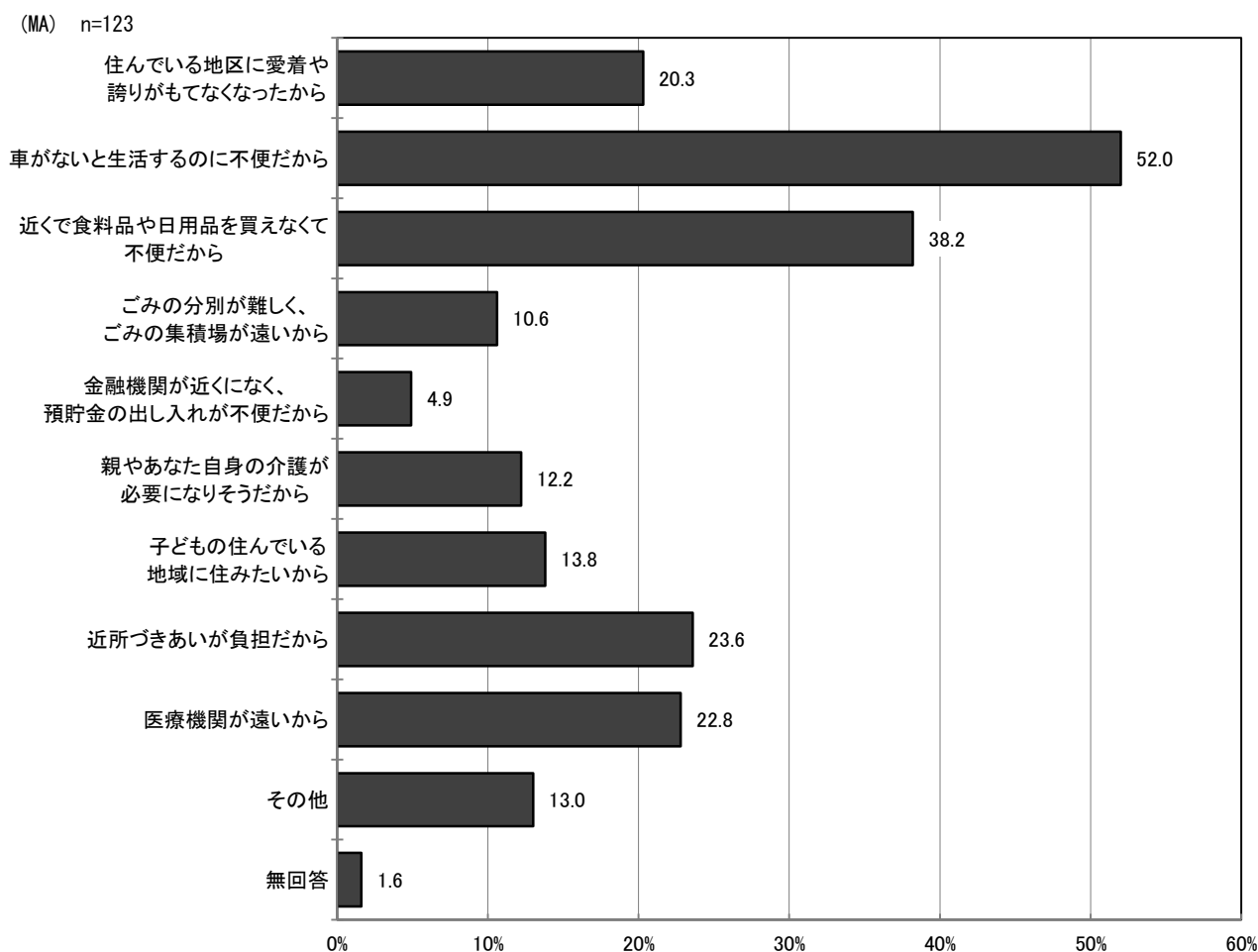
『20 歳代』では「親や子どもの家が近いから、親や子どもと同居しているから」「経済的な理由から（他での生活はお金がかかるから）」、『30 歳代』では「親や子どもの家が近いから、親や子どもと同居しているから」、『70 歳以上』では「近所の人との交流や地区のことをよく知っているから」の割合が高くなっています。

	全体 n=625	20歳代 n=21	30歳代 n=48	40歳代 n=85	50歳代 n=87	60歳代 n=142	70歳以上 n=236
住んでいる地区に愛着や誇りがあるから（自然、景観、人情、歴史、文化）	41.3	42.9	31.3	38.8	36.8	43.0	44.9
特に生活で困っていることはないから	43.2	28.6	52.1	36.5	50.6	39.4	43.6
今の生活習慣を変えたくないから	42.9	38.1	39.6	43.5	49.4	40.1	44.1
近所の人との交流や地区のことをよく知っているから	25.1	4.8	8.3	21.2	11.5	25.4	37.3
親や子どもの家が近いから、親や子どもと同居しているから	18.2	28.6	27.1	24.7	19.5	13.4	14.4
現在、住んでいる地区で生計を維持できるから	19.7	—	18.8	12.9	18.4	22.5	22.9
経済的な理由から（他での生活はお金がかかるから）	8.5	28.6	10.4	11.8	11.5	7.7	4.7
お墓を守っていききたいから	16.5	—	4.2	9.4	12.6	19.0	22.9
子どもが帰ってくる場所を残しておきたいから	21.1	—	12.5	20.0	18.4	26.8	22.5
その他	2.4	14.3	6.3	1.2	2.3	2.8	0.8
無回答	0.5	—	—	—	1.1	0.7	0.4

問23で「市外に移りたい」と回答した方におうかがいします。

問 25 市外へ移りたい理由は何ですか。(MA)

「車がないと生活するのに不便だから」が52.0%で最も高くなっています。次いで「近くで食料品や日用品を買えなくて不便だから」が38.2%、「近所づきあいが負担だから」が23.6%で続いています。



<問 25×地域別クロス>

『広瀬地域』では、「車がないと生活するのに不便だから」「親やあなた自身の介護が必要になりそうだから」「伯太地域』では、「近くで食料品や日用品を買えなくて不便だから」「医療機関が遠いから」の割合が高くなっています。

	全体 n=123	安来地域 n=90	広瀬地域 n=15	伯太地域 n=16
住んでいる地区に愛着や誇りがもてなくなったから	20.3	23.3	6.7	18.8
車がないと生活するのに不便だから	52.0	50.0	73.3	43.8
近くで食料品や日用品を買えなくて不便だから	38.2	31.1	46.7	68.8
ごみの分別が難しく、ごみの集積場が遠いから	10.6	11.1	6.7	6.3
金融機関が近くになく、預貯金の出し入れが不便だから	4.9	4.4	6.7	6.3
親やあなた自身の介護が必要になりそうだから	12.2	8.9	33.3	12.5
子どもの住んでいる地域に住みたいから	13.8	14.4	13.3	12.5
近所づきあいが負担だから	23.6	22.2	26.7	25.0
医療機関が遠いから	22.8	18.9	26.7	43.8
その他	13.0	13.3	13.3	12.5
無回答	1.6	2.2	—	—

<問 25×年齢別クロス>

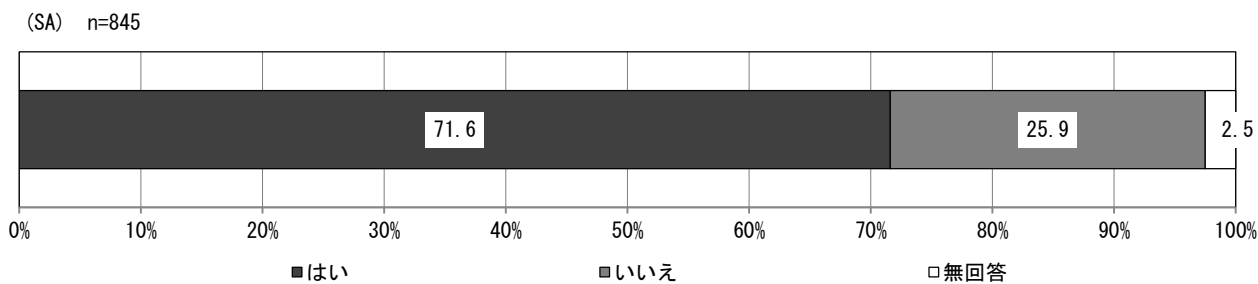
『60 歳代』では「車がないと生活するのに不便だから」「医療機関が遠いから」、『70 歳以上』では「住んでいる地区に愛着や誇りがもてなくなったから」「子どもの住んでいる地域に住みたいから」の割合が高くなっています。

	全体 n=123	20歳代 n=9	30歳代 n=17	40歳代 n=26	50歳代 n=25	60歳代 n=26	70歳以上 n=19
住んでいる地区に愛着や誇りがもてなくなったから	20.3	33.3	23.5	11.5	4.0	23.1	42.1
車がないと生活するのに不便だから	52.0	22.2	52.9	46.2	52.0	65.4	52.6
近くで食料品や日用品を買えなくて不便だから	38.2	22.2	41.2	38.5	28.0	42.3	47.4
ごみの分別が難しく、ごみの集積場が遠いから	10.6	22.2	5.9	3.8	12.0	11.5	15.8
金融機関が近くになく、預貯金の出し入れが不便だから	4.9	—	—	3.8	8.0	3.8	10.5
親やあなた自身の介護が必要になりそうだから	12.2	11.1	17.6	15.4	16.0	11.5	—
子どもの住んでいる地域に住みたいから	13.8	—	—	11.5	20.0	15.4	26.3
近所づきあいが負担だから	23.6	11.1	11.8	11.5	32.0	30.8	31.6
医療機関が遠いから	22.8	11.1	17.6	23.1	28.0	34.6	10.5
その他	13.0	44.4	11.8	11.5	16.0	7.7	5.3
無回答	1.6	—	—	—	4.0	—	5.3

6 災害に関することについて

問 26① 災害時の避難場所について知っていますか(SA)

「はい」が71.6%を占めています。



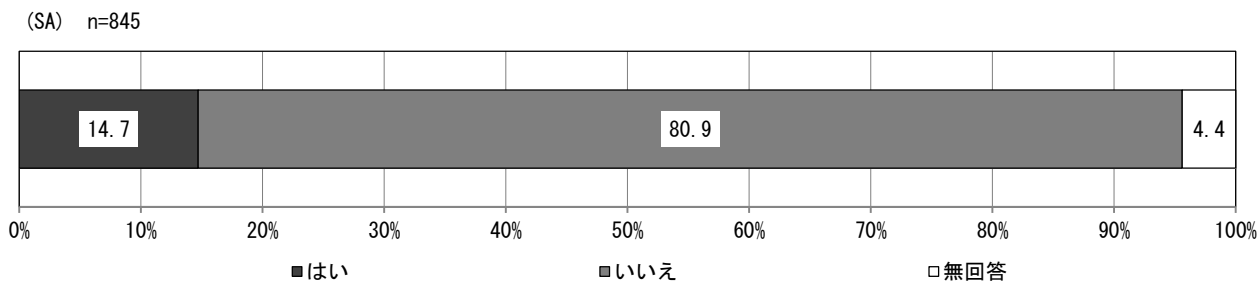
<問 26①×年齢別クロス>

『30 歳代』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
はい	71.6	65.9	56.9	64.8	73.5	76.8	74.8
いいえ	25.9	34.1	40.3	33.6	25.8	21.6	20.5
無回答	2.5	—	2.8	1.6	0.8	1.6	4.7

問 26② 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか(SA)

「いいえ」が 80.9%を占めています。



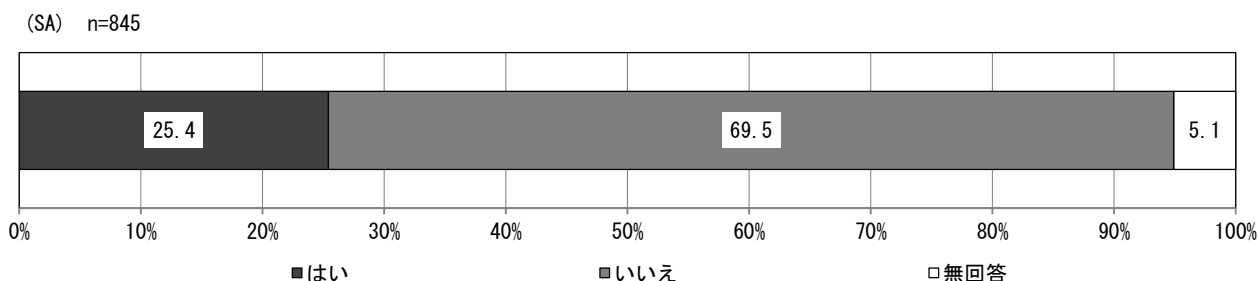
<問 26②×年齢別クロス>

『20 歳代』『30 歳代』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
はい	14.7	4.9	4.2	8.8	12.9	17.9	20.1
いいえ	80.9	95.1	93.1	89.6	86.4	80.0	69.8
無回答	4.4	—	2.8	1.6	0.8	2.1	10.1

問 26③ 地域の自主防災組織（自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に入っていますか(SA)

「いいえ」が 69.5%を占めています。



<問 26③×地域別クロス>

『広瀬地域』では、「はい」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	安来地域 n=582	広瀬地域 n=155	伯太地域 n=96
はい	25.4	22.0	36.1	30.2
いいえ	69.5	73.4	57.4	63.5
無回答	5.1	4.6	6.5	6.3

<問 26③×年齢別クロス>

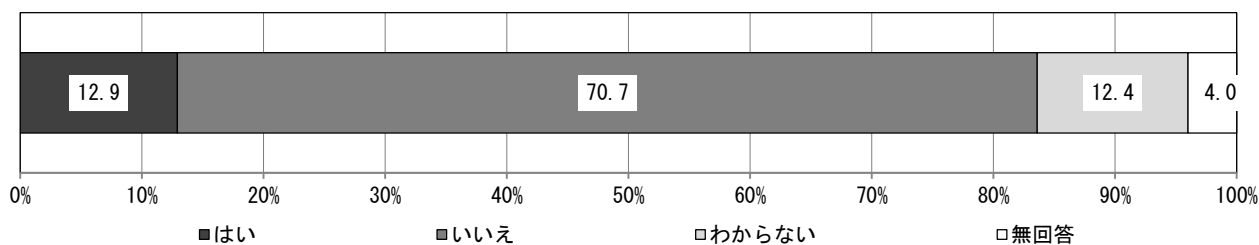
『20 歳代』『30 歳代』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
はい	25.4	9.8	15.3	24.8	27.3	25.3	30.2
いいえ	69.5	90.2	81.9	71.2	69.7	72.1	60.1
無回答	5.1	—	2.8	4.0	3.0	2.6	9.7

問 26④ 緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか(SA)

「いいえ」が 70.7%を占めています。

(SA) n=845



<問 26④×年齢別クロス>

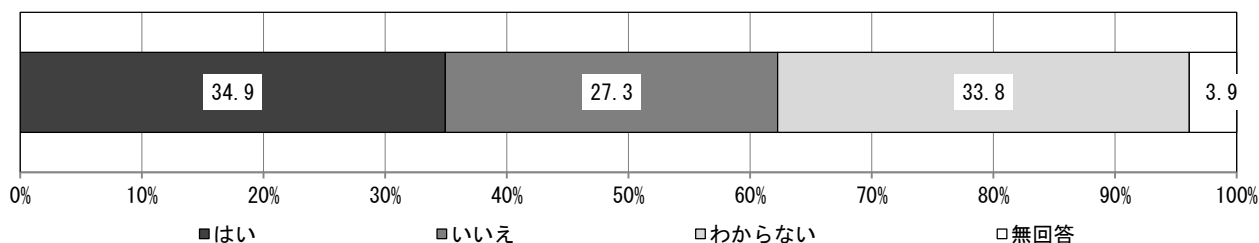
『20 歳代』から『40 歳代』では「わからない」、『50 歳代』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
はい	12.9	12.2	16.7	14.4	8.3	8.9	15.8
いいえ	70.7	65.9	59.7	61.6	82.6	75.8	69.1
わからない	12.4	22.0	22.2	22.4	8.3	12.1	6.5
無回答	4.0	—	1.4	1.6	0.8	3.2	8.6

問 26⑤ 緊急時に、高齢者や障がいのある人等の避難行動要支援者の避難等の手助けができますか(SA)

「はい」が 34.9%で最も高く、次いで「わからない」が 33.8%、「いいえ」が 27.3%となっています。

(SA) n=845



<問 26⑤×年齢別クロス>

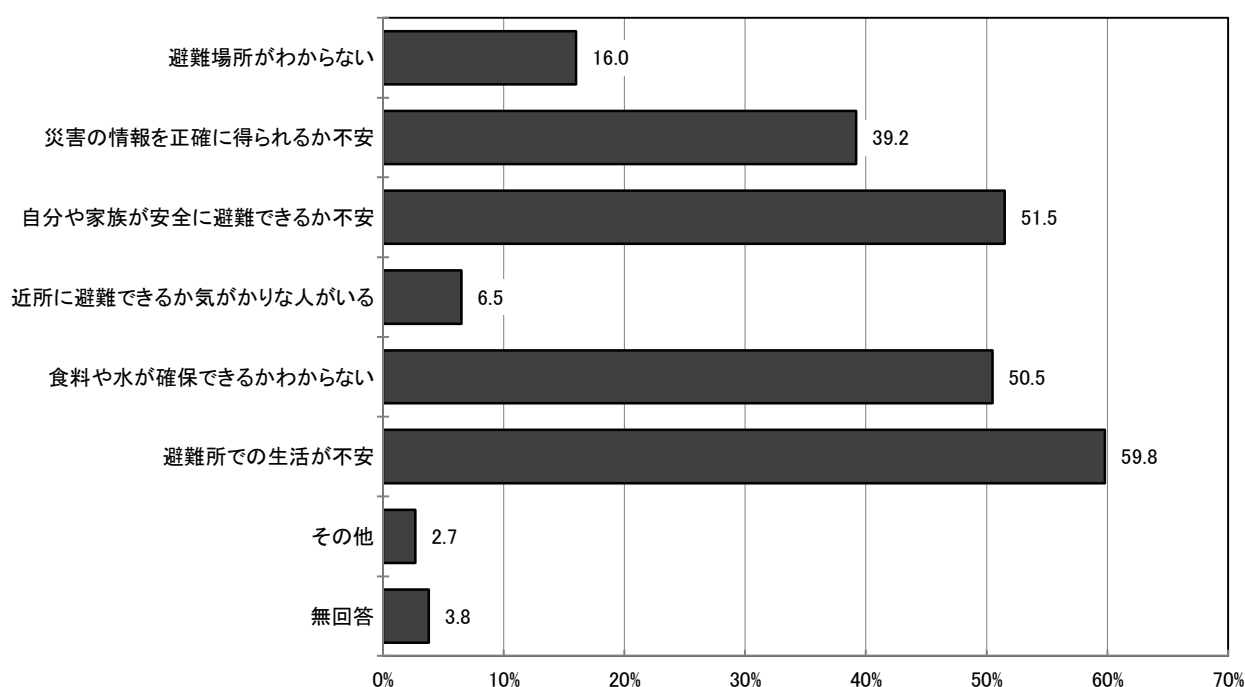
『20 歳代』から『40 歳代』では「わからない」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
はい	34.9	29.3	29.2	25.6	40.2	42.1	33.1
いいえ	27.3	17.1	23.6	25.6	24.2	20.0	37.1
わからない	33.8	53.7	45.8	46.4	34.8	35.8	21.2
無回答	3.9	—	1.4	2.4	0.8	2.1	8.6

問 27 災害時にあなたが不安に感じることはどのようなことですか。(MA)

「避難所での生活が不安」が 59.8%で最も高くなっています。次いで「自分や家族が安全に避難できるか不安」が 51.5%、「食料や水が確保できるかわからない」が 50.5%で続いています。

(MA) n=845



<問 27×年齢別クロス>

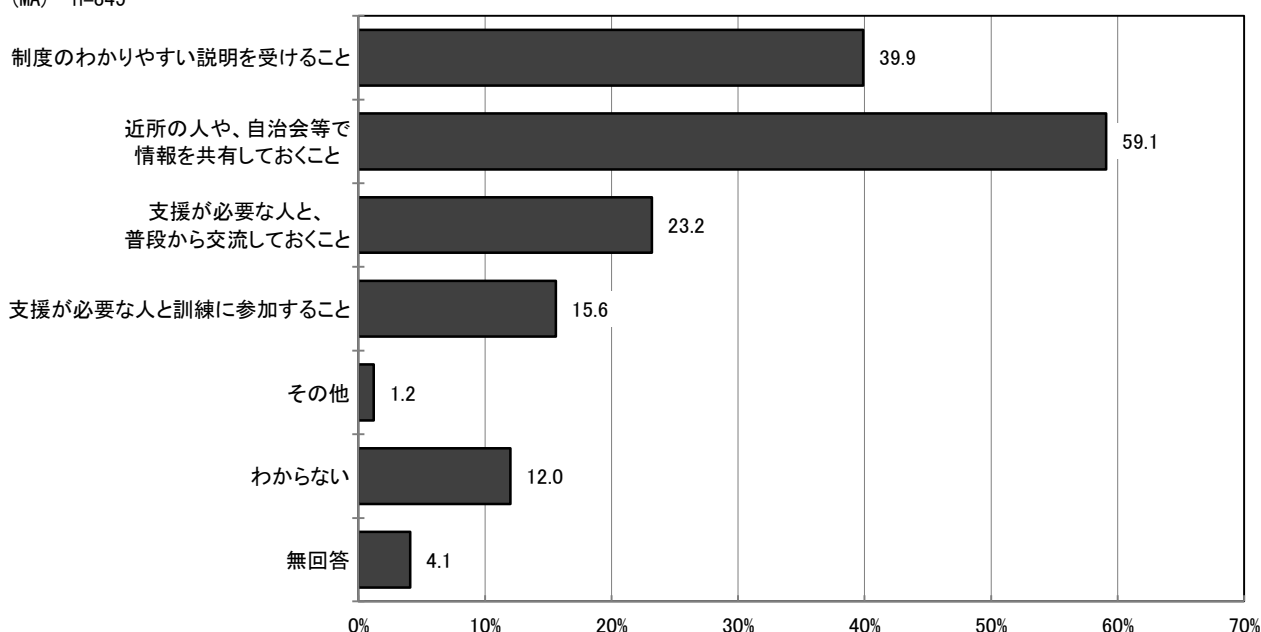
『20 歳代』から『40 歳代』では「自分や家族が安全に避難できるか不安」、『30 歳代』では「食料や水が確保できるかわからない」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
避難場所がわからない	16.0	14.6	16.7	20.0	11.4	16.8	15.5
災害の情報を正確に得られるか不安	39.2	34.1	33.3	30.4	36.4	42.1	45.0
自分や家族が安全に避難できるか不安	51.5	65.9	65.3	63.2	57.6	46.3	40.3
近所に避難できるか気がかりな人がある	6.5	7.3	9.7	8.8	4.5	7.4	4.7
食料や水が確保できるかわからない	50.5	56.1	73.6	60.0	53.0	47.4	41.0
避難所での生活が不安	59.8	68.3	51.4	61.6	60.6	64.7	56.8
その他	2.7	2.4	4.2	4.0	3.8	2.6	1.4
無回答	3.8	—	1.4	2.4	2.3	3.7	6.5

問 28 避難行動要支援者を手助けするにあたっては、どのような機会や取り組みがあれば手助けがしやすくなると思いますか。(MA)

「近所の人や、自治会等で情報を共有しておくこと」が 59.1%で最も高くなっています。次いで「制度のわかりやすい説明を受けること」が 39.9%、「支援が必要な人と、普段から交流しておくこと」が 23.2%で続いています。

(MA) n=845



<問 28×年齢別クロス>

『30 歳代』では「制度のわかりやすい説明を受けること」の割合が高くなっています。

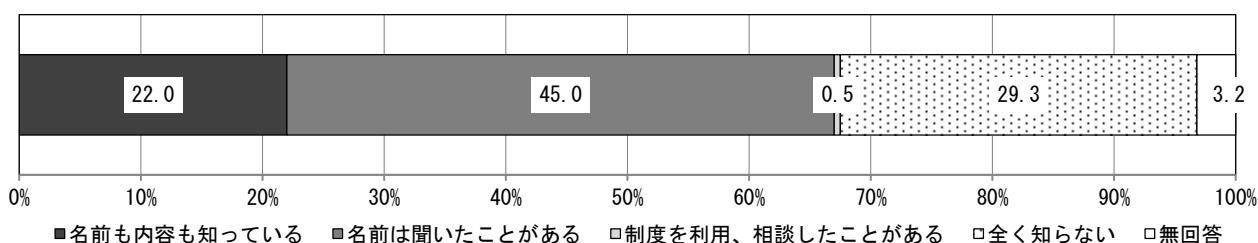
	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
制度のわかりやすい説明を受けること	39.9	36.6	50.0	40.0	37.9	38.4	40.3
近所の人や、自治会等で情報を共有しておくこと	59.1	63.4	43.1	55.2	53.0	65.3	62.6
支援が必要な人と、普段から交流しておくこと	23.2	22.0	25.0	24.8	28.8	21.1	20.5
支援が必要な人と訓練に参加すること	15.6	19.5	23.6	13.6	18.2	16.3	12.6
その他	1.2	—	2.8	0.8	—	2.1	1.1
わからない	12.0	12.2	6.9	16.0	14.4	10.5	11.2
無回答	4.1	—	4.2	2.4	3.0	3.2	6.8

7 福祉のまちづくりについて

問 29 あなたは「成年後見制度」についてどのくらい知っていますか。(SA)

「名前は聞いたことがある」が45.0%で最も高く、次いで「全く知らない」が29.3%、「名前も内容も知っている」が22.0%が続いています。

(SA) n=845



<問 29×年齢別クロス>

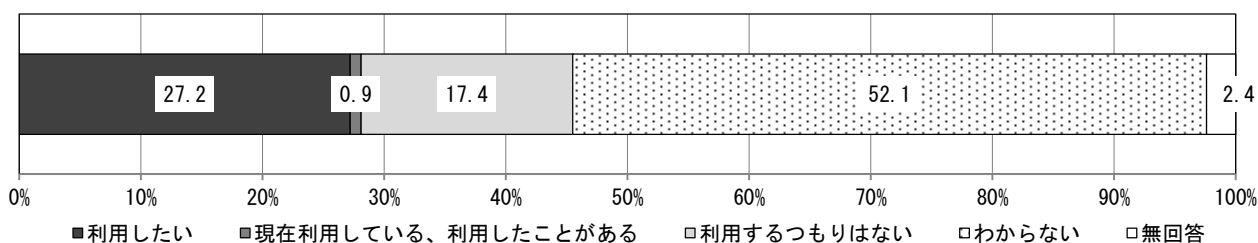
『20 歳代』では「全く知らない」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
名前も内容も知っている	22.0	14.6	22.2	20.8	22.7	27.4	19.8
名前は聞いたことがある	45.0	26.8	36.1	45.6	50.0	42.1	49.6
制度を利用、相談したことがある	0.5	—	—	0.8	0.8	1.1	—
全く知らない	29.3	58.5	38.9	30.4	25.0	27.4	24.8
無回答	3.2	—	2.8	2.4	1.5	2.1	5.8

問 30 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(SA)

「わからない」が 52.1%を占めています。

(SA) n=845



<問 30×年齢別クロス>

『20 歳代』『30 歳代』では「利用したい」の割合が高くなっています。

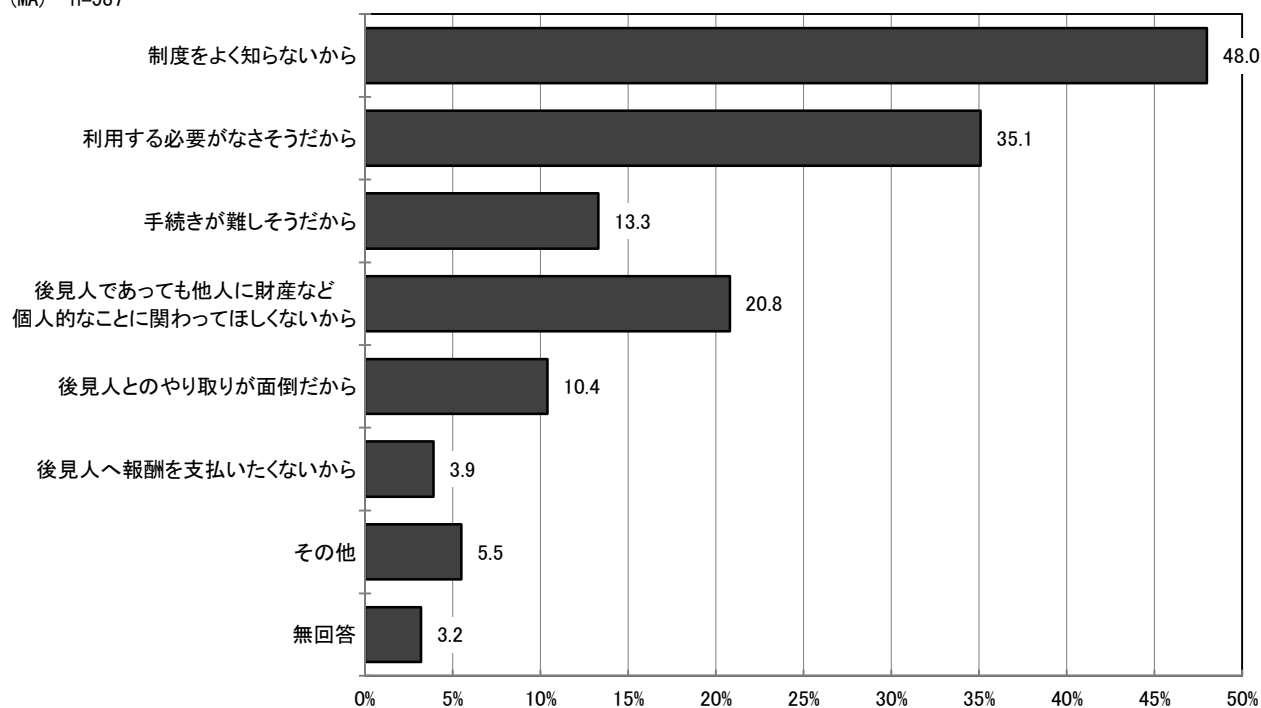
	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
利用したい	27.2	43.9	37.5	29.6	28.8	26.8	19.8
現在利用している、利用したことがある	0.9	—	—	0.8	0.8	1.6	1.1
利用するつもりはない	17.4	9.8	12.5	9.6	14.4	17.9	24.5
わからない	52.1	46.3	47.2	57.6	55.3	52.1	50.7
無回答	2.4	—	2.8	2.4	0.8	1.6	4.0

問30で「利用するつもりはない」または「わからない」と回答した方におうかがいします。

問 31 選んだ理由は何ですか。(MA)

「制度をよく知らないから」が 48.0%で最も高くなっています。次いで「利用する必要がなさそうだから」が 35.1%、「後見人であっても他人に財産など個人的なことに関わってほしくないから」が 20.8%が続いています。

(MA) n=587



<問 31×地域別クロス>

『広瀬地域』では、「制度をよく知らないから」の割合が高くなっています。

	全体 n=587	安来地域 n=413	広瀬地域 n=107	伯太地域 n=62
制度をよく知らないから	48.0	45.0	58.9	50.0
利用する必要がなさそうだから	35.1	36.6	34.6	27.4
手続きが難しそうだから	13.3	13.1	10.3	17.7
後見人であっても他人に財産など個人的なことに 関わってほしくないから	20.8	21.1	19.6	21.0
後見人とのやり取りが面倒だから	10.4	10.2	10.3	12.9
後見人へ報酬を支払いたくないから	3.9	3.6	1.9	9.7
その他	5.5	6.8	1.9	3.2
無回答	3.2	2.4	4.7	6.5

<問 31×年齢別クロス>

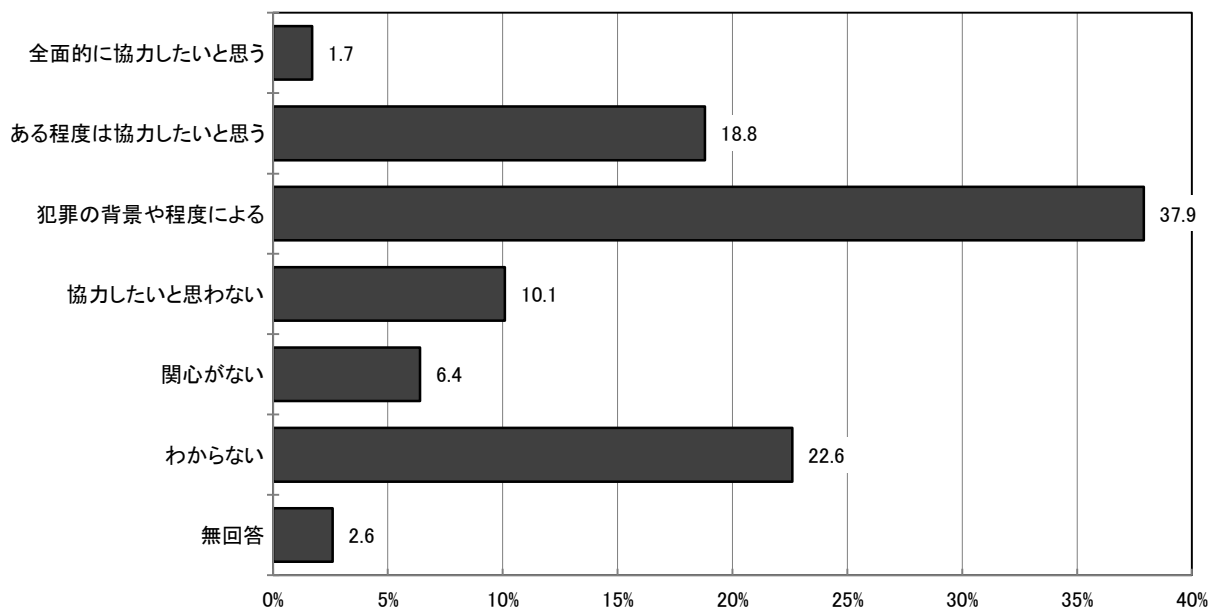
『20 歳代』では「後見人とのやり取りが面倒だから」、『20 歳代』から『40 歳代』では「制度をよく知らないから」、『70 歳以上』では「利用する必要がなさそうだから」の割合が高くなっています。

	全体 n=587	20歳代 n=23	30歳代 n=43	40歳代 n=84	50歳代 n=92	60歳代 n=133	70歳以上 n=209
制度をよく知らないから	48.0	69.6	65.1	73.8	45.7	45.9	34.4
利用する必要がなさそうだから	35.1	4.3	16.3	13.1	29.3	36.8	52.6
手続きが難しそうだから	13.3	26.1	20.9	17.9	14.1	8.3	11.0
後見人であっても他人に財産など個人的なことに 関わってほしくないから	20.8	21.7	20.9	17.9	22.8	21.8	20.6
後見人とのやり取りが面倒だから	10.4	21.7	11.6	9.5	9.8	10.5	9.6
後見人へ報酬を支払いたくないから	3.9	4.3	7.0	4.8	3.3	5.3	2.4
その他	5.5	4.3	7.0	7.1	4.3	4.5	5.7
無回答	3.2	—	—	1.2	5.4	5.3	2.9

問 32 あなたは地域に刑務所出所者等がいた場合、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(SA)

「犯罪の背景や程度による」が 37.9%で最も高くなっています。次いで「わからない」が 22.6%、「ある程度は協力したいと思う」が 18.8%で続いています。

(SA) n=845



<問 32×年齢別クロス>

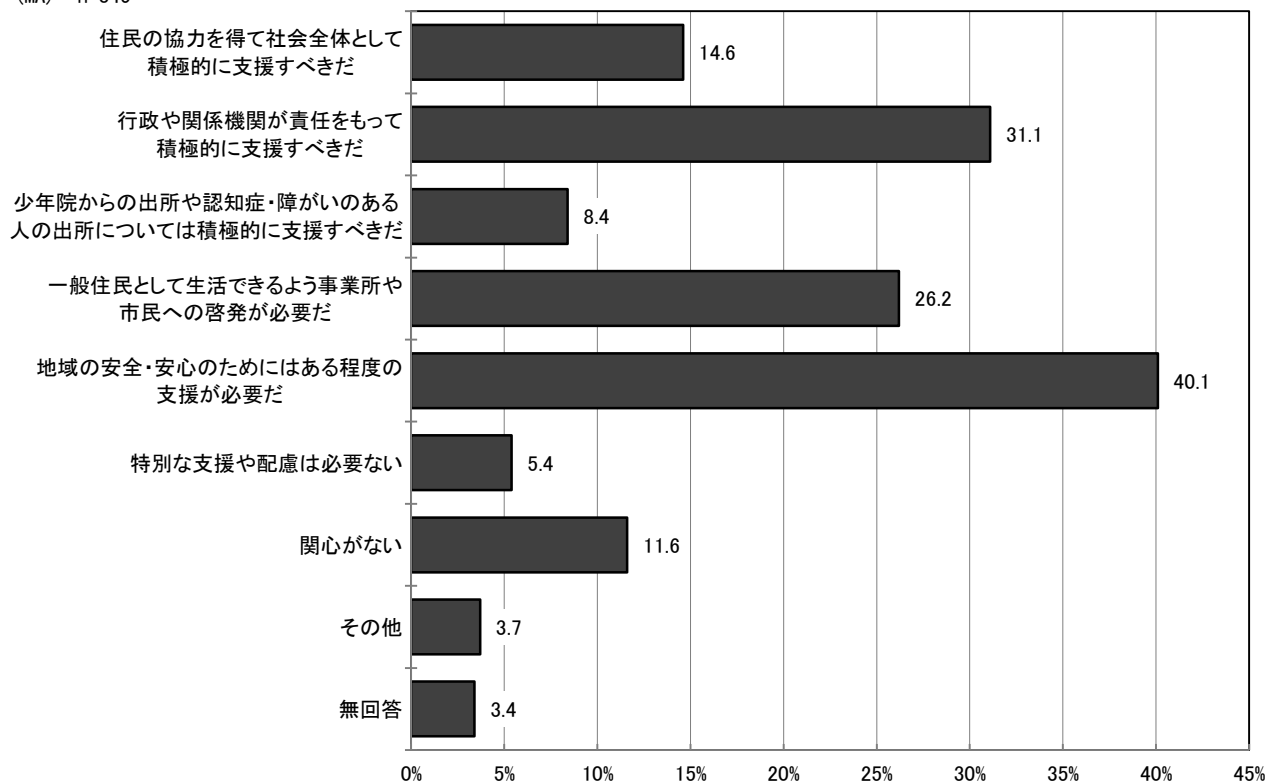
『30 歳代』では「犯罪の背景や程度による」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
全面的に協力したいと思う	1.7	—	2.8	2.4	—	0.5	2.5
ある程度は協力したいと思う	18.8	12.2	5.6	8.0	17.4	25.8	24.1
犯罪の背景や程度による	37.9	48.8	56.9	41.6	46.2	31.6	30.2
協力したいと思わない	10.1	14.6	15.3	17.6	9.1	7.4	7.2
関心がない	6.4	9.8	9.7	8.8	3.0	8.4	4.3
わからない	22.6	14.6	8.3	19.2	23.5	25.3	26.3
無回答	2.6	—	1.4	2.4	0.8	1.1	5.4

問 33 刑務所出所者等が円滑に社会復帰できるように支援することについて、あなたの考えに特に近いものを選んでください。(MA)

「地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ」が40.1%で最も高くなっています。次いで「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が31.1%、「一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要だ」が26.2%で続いています。

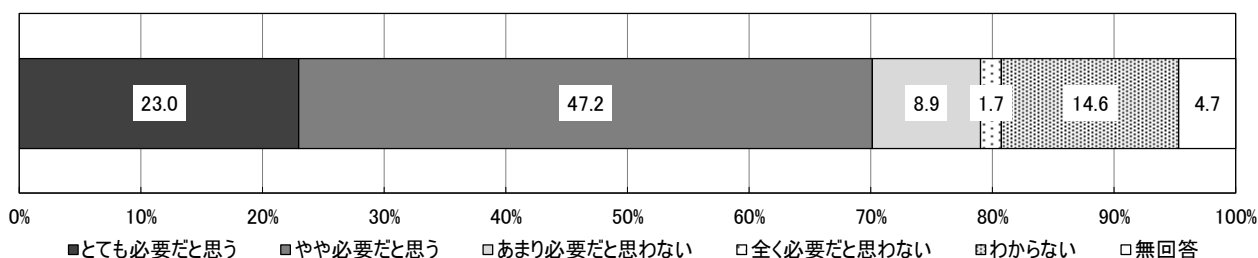
(MA) n=845



問 34 あなたは生活困窮者（仕事や生活に困っている人）を地域で支えることが必要だと思いますか。(SA)

「やや必要だと思う」が47.2%で最も高くなっています。次いで「とても必要だと思う」が23.0%、「わからない」が14.6%で続いています。

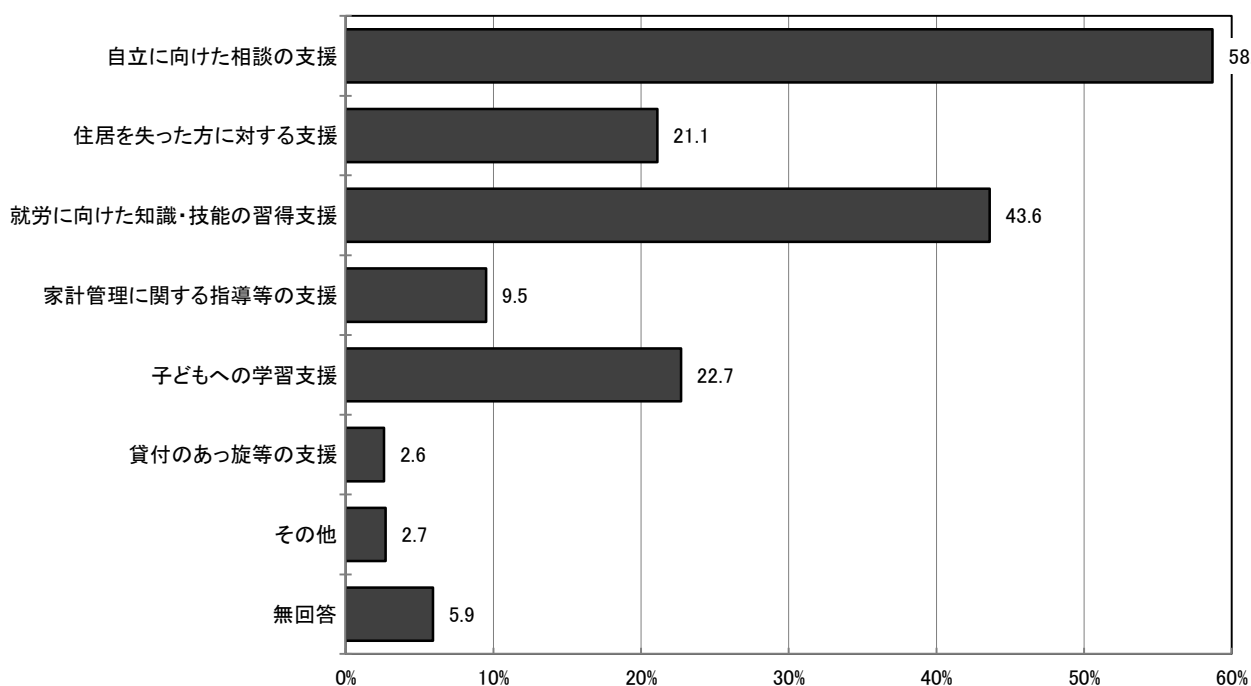
(SA) n=845



問 35 生活困窮者に対して、どのような支援が必要だと思いますか。(MA)

「自立に向けた相談の支援」が 58.7%で最も高くなっています。次いで「就労に向けた知識・技能の習得支援」が 43.6%、「子どもへの学習支援」が 22.7%が続いています。

(MA) n=845



<問 35×年齢別クロス>

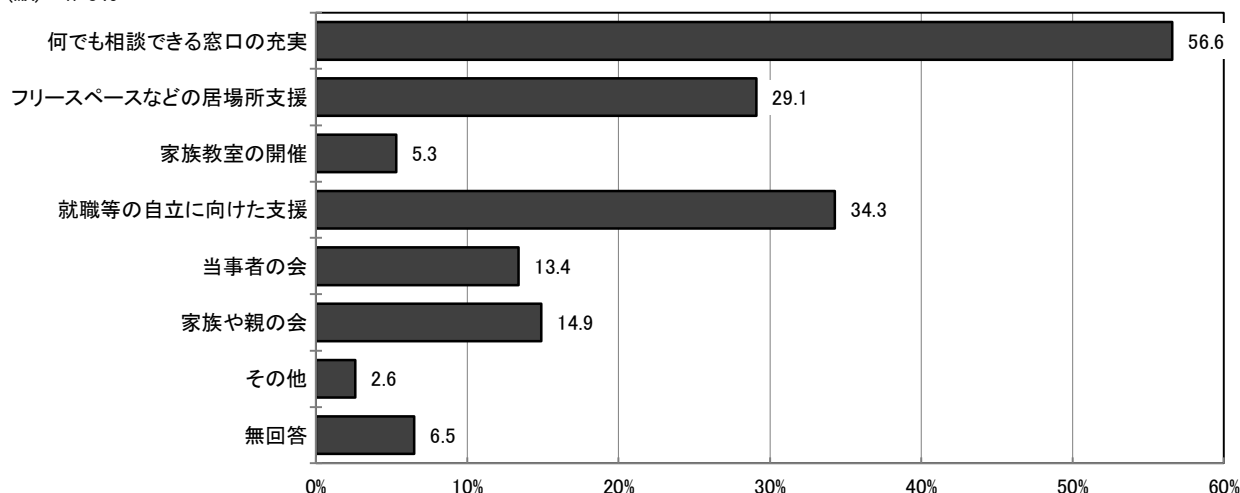
『20 歳代』では「住居を失った方に対する支援」「就労に向けた知識・技能の習得支援」、『30 歳代』では「就労に向けた知識・技能の習得支援」「子どもへの学習支援」、『40 歳代』では「子どもへの学習支援」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
自立に向けた相談の支援	58.7	39.0	48.6	54.4	62.9	60.0	64.0
住居を失った方に対する支援	21.1	39.0	22.2	21.6	21.2	23.2	15.8
就労に向けた知識・技能の習得支援	43.6	68.3	56.9	42.4	37.1	44.2	39.6
家計管理に関する指導等の支援	9.5	2.4	16.7	13.6	9.8	10.0	6.1
子どもへの学習支援	22.7	29.3	33.3	39.2	25.8	18.4	13.3
貸付のあっ旋等の支援	2.6	4.9	4.2	4.8	0.8	2.1	1.8
その他	2.7	2.4	1.4	1.6	3.0	2.6	3.6
無回答	5.9	-	1.4	2.4	3.8	5.8	10.8

問 36 ひきこもりの方やその家族に対する支援として、どのような支援が必要だと思いますか。
(MA)

「何でも相談できる窓口の充実」が56.6%で最も高くなっています。次いで「就職等の自立に向けた支援」が34.3%、「フリースペースなどの居場所支援」が29.1%が続いています。

(MA) n=845



<問 36×年齢別クロス>

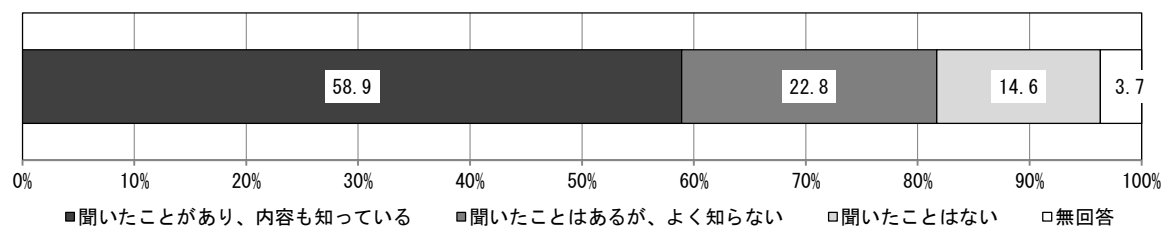
『20歳代』『40歳代』では「就職等の自立に向けた支援」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
何でも相談できる窓口の充実	56.6	53.7	54.2	46.4	63.6	57.9	57.9
フリースペースなどの居場所支援	29.1	34.1	34.7	32.0	28.8	32.1	24.5
家族教室の開催	5.3	2.4	8.3	4.8	6.1	7.4	3.2
就職等の自立に向けた支援	34.3	43.9	41.7	45.6	38.6	27.9	27.7
当事者の会	13.4	19.5	18.1	13.6	12.9	11.6	12.2
家族や親の会	14.9	9.8	22.2	22.4	12.9	16.3	10.8
その他	2.6	4.9	1.4	4.8	1.5	2.1	2.5
無回答	6.5	—	1.4	1.6	3.8	6.8	12.2

問 37 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(SA)

「聞いたことがあります、内容も知っている」が58.9%を占めています。

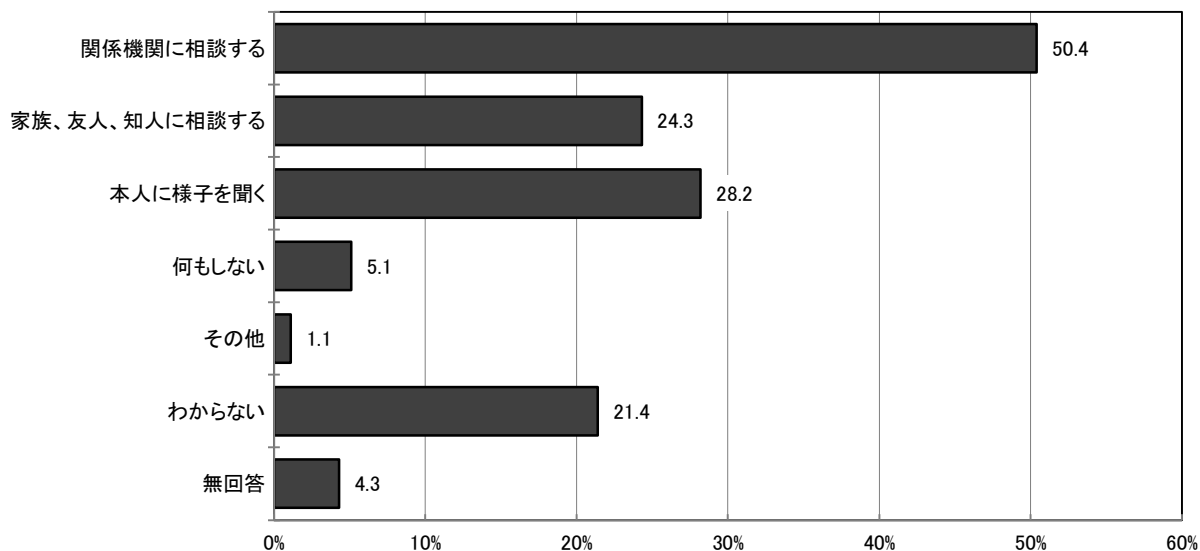
(SA) n=845



問 38 あなたの身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、どのような対応をしますか。(MA)

「関係機関に相談する」が 50.4%で最も高くなっています。次いで「本人に様子を聞く」が 28.2%、「家族、友人、知人に相談する」が 24.3%で続いています。

(MA) n=845



<問 38×年齢別クロス>

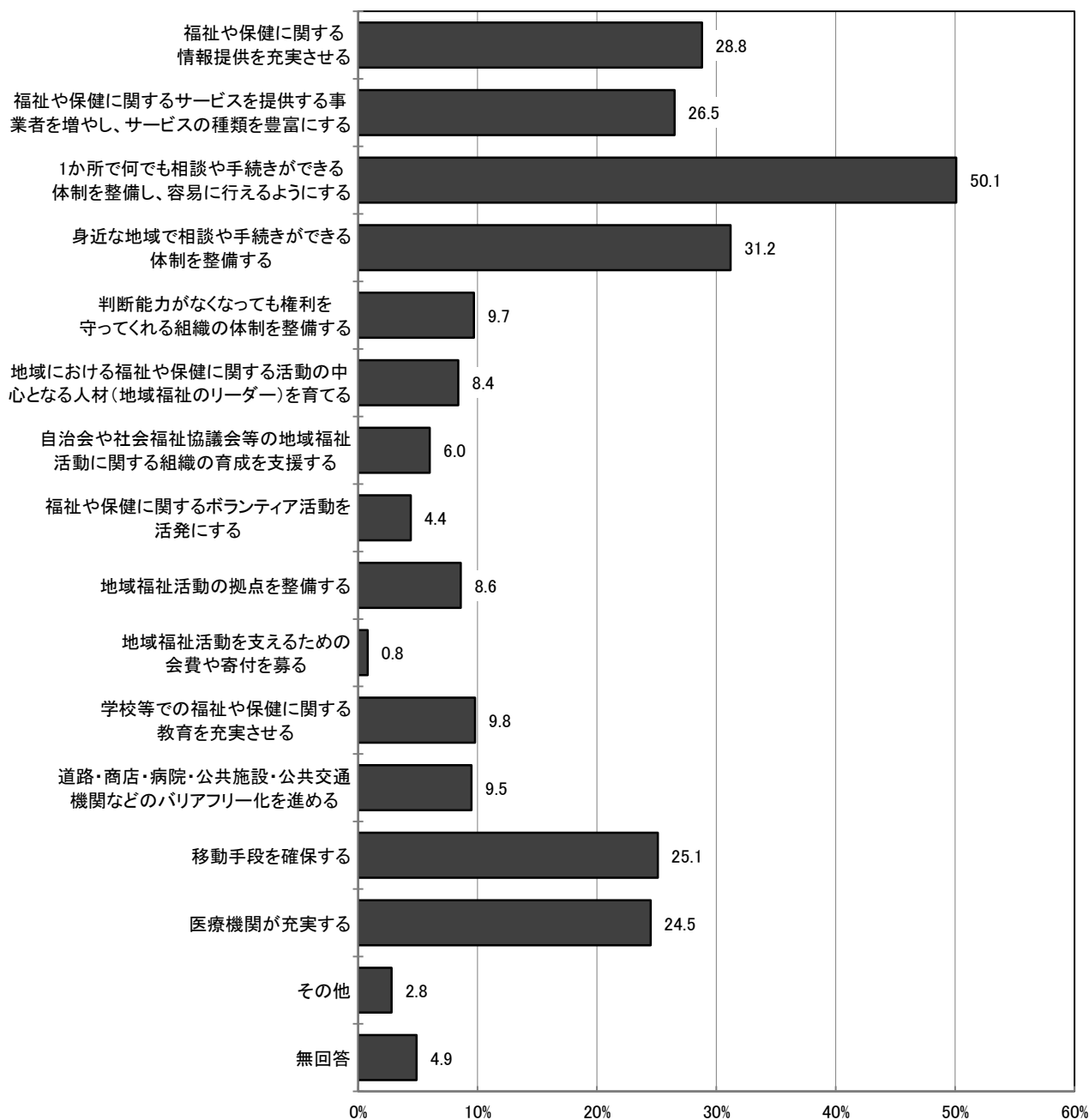
『20 歳代』では、「本人に様子を聞く」「何もしない」、『30 歳代』では「家族、友人、知人に相談する」「本人に様子を聞く」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
関係機関に相談する	50.4	43.9	56.9	44.8	45.5	52.6	52.5
家族、友人、知人に相談する	24.3	14.6	37.5	32.0	16.7	25.8	21.2
本人に様子を聞く	28.2	39.0	44.4	34.4	18.9	26.8	24.8
何もしない	5.1	17.1	4.2	7.2	5.3	4.2	3.2
その他	1.1	—	1.4	0.8	4.5	0.5	—
わからない	21.4	19.5	13.9	15.2	26.5	24.2	22.7
無回答	4.3	—	1.4	1.6	3.0	3.2	8.3

問 39 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

「1か所で何でも相談や手続きができる体制を整備し、容易に行えるようにする」が50.1%で最も高くなっています。次いで「身近な地域で相談や手続きができる体制を整備する」が31.2%、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が28.8%で続いています。

(MA) n=845



<問 39×年齢別クロス>

『20 歳代』では、「道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める」「移動手段を確保する」、『30 歳代』では「福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やし、サービスの種類を豊富にする」「学校等での福祉や保健に関する教育を充実させる」の割合が高くなっています。

	全体 n=845	20歳代 n=41	30歳代 n=72	40歳代 n=125	50歳代 n=132	60歳代 n=190	70歳以上 n=278
福祉や保健に関する情報提供を充実させる	28.8	24.4	23.6	28.8	31.1	30.0	28.4
福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やし、サービスの種類を豊富にする	26.5	26.8	38.9	28.8	29.5	23.2	22.7
1か所で何でも相談や手続きができる体制を整備し、容易に行えるようにする	50.1	43.9	47.2	42.4	53.0	52.6	52.2
身近な地域で相談や手続きができる体制を整備する	31.2	17.1	23.6	29.6	28.0	37.9	32.7
判断能力がなくなっても権利を守ってくれる組織の体制を整備する	9.7	14.6	15.3	13.6	6.8	8.4	7.6
地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材(地域福祉のリーダー)を育てる	8.4	2.4	5.6	3.2	9.1	8.9	11.9
自治会や社会福祉協議会等の地域福祉活動に関する組織の育成を支援する	6.0	2.4	2.8	4.0	4.5	7.4	8.3
福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする	4.4	2.4	5.6	5.6	1.5	3.7	5.8
地域福祉活動の拠点を整備する	8.6	7.3	9.7	8.8	6.1	11.6	7.9
地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る	0.8	—	—	0.8	1.5	0.5	1.1
学校等での福祉や保健に関する教育を充実させる	9.8	17.1	23.6	9.6	12.1	6.8	6.5
道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める	9.5	29.3	11.1	7.2	9.1	6.8	9.0
移動手段を確保する	25.1	48.8	19.4	28.8	26.5	18.4	25.9
医療機関が充実する	24.5	34.1	26.4	24.8	28.0	24.2	20.9
その他	2.8	2.4	2.8	3.2	6.1	2.6	1.4
無回答	4.9	—	1.4	2.4	3.8	5.8	7.6

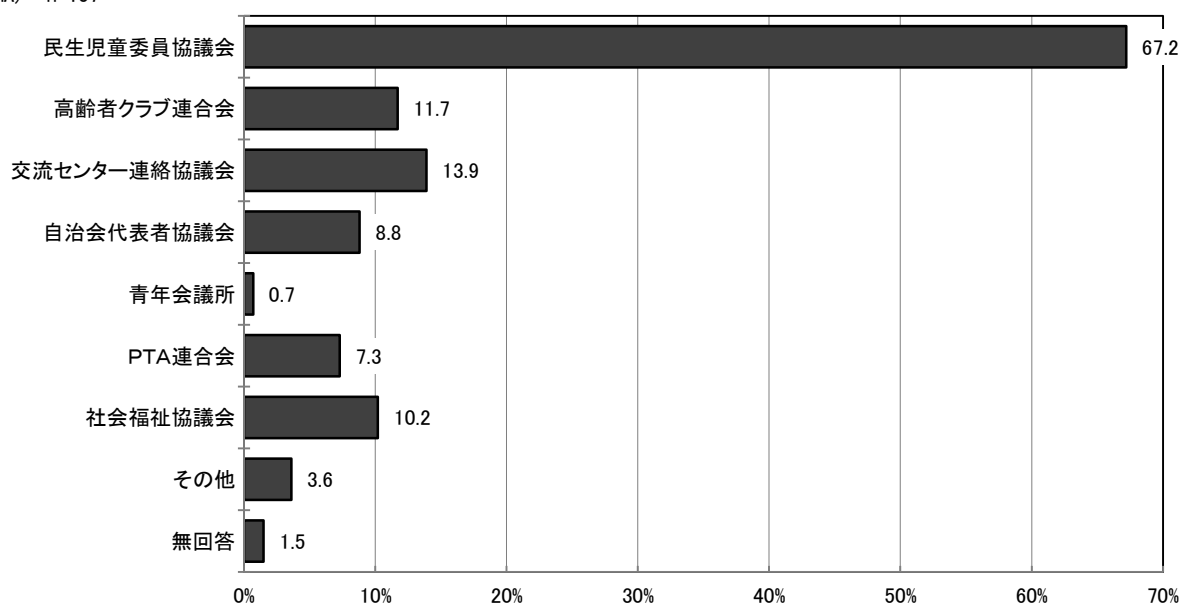
Ⅲ 関係団体調査

Ⅰ 基本的事項

【組織・団体名】(MA)

「民生児童委員協議会」が67.2%で最も高くなっています。次いで「交流センター連絡協議会」が13.9%、「高齢者クラブ連合会」が11.7%が続いています。

(MA) n=137

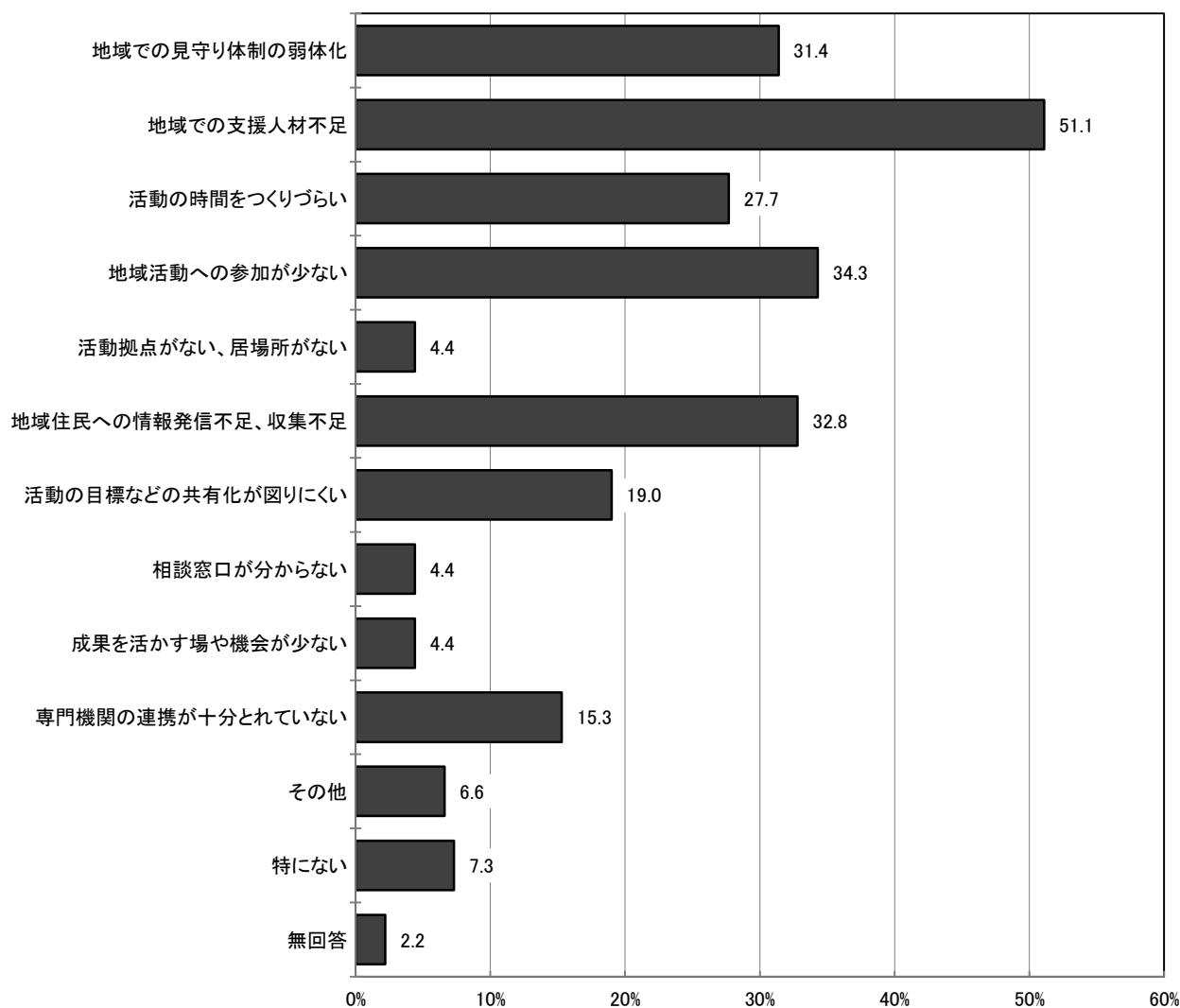


2 活動状況について

問1 活動を行う上で、あなた(または貴団体)が課題だと感じていることや困っていることはありますか。(MA)

「地域での支援人材不足」が51.1%で最も高くなっています。次いで「地域活動への参加が少ない」が34.3%、「地域住民への情報発信不足、収集不足」が32.8%で続いています。

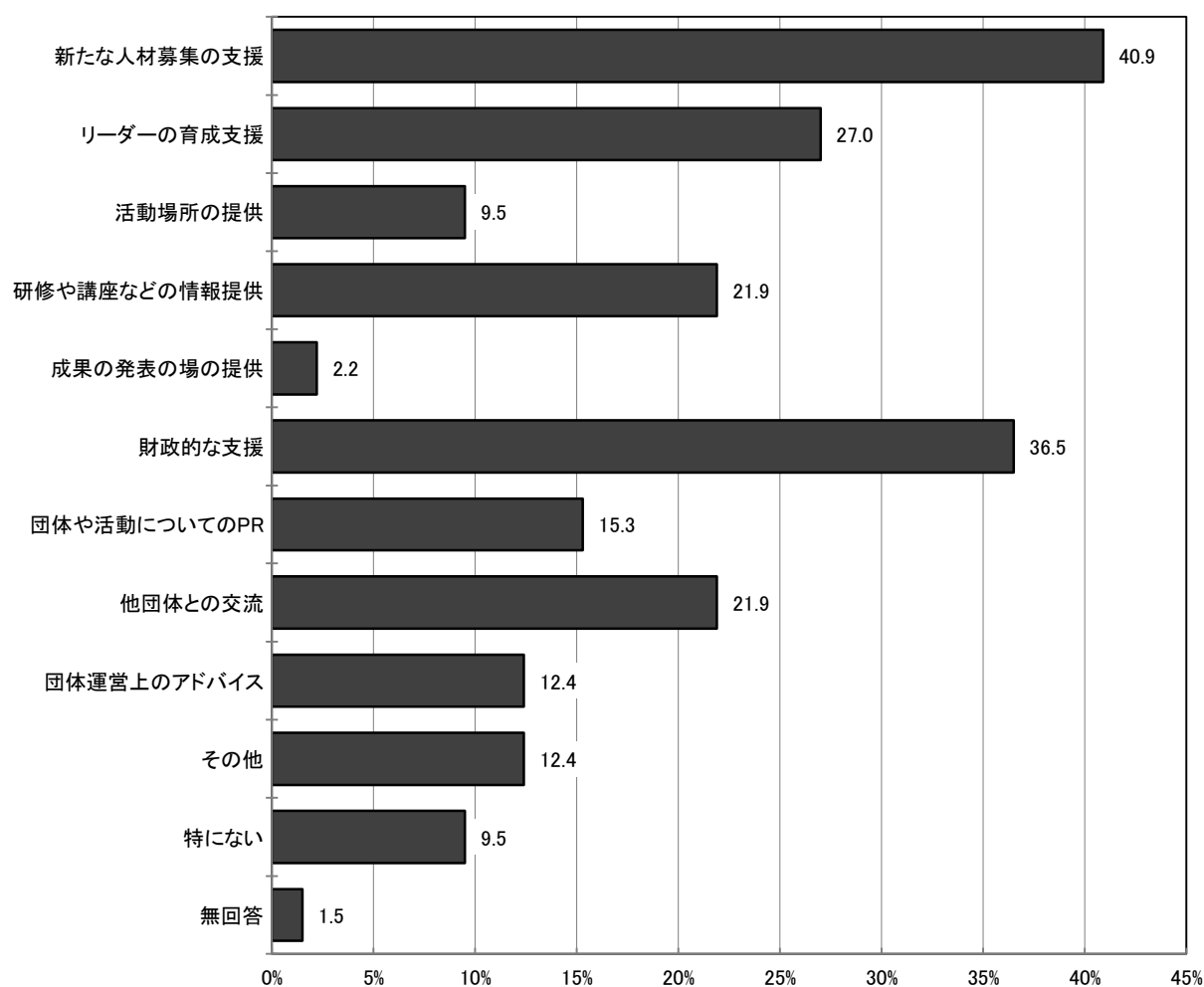
(MA) n=137



問2 活動をしていく上で、あなた(または貴団体)は市にどのような支援を希望しますか。(MA)

「新たな人材募集の支援」が40.9%で最も高くなっています。次いで「財政的な支援」が36.5%、「リーダーの育成支援」が27.0%で続いています。

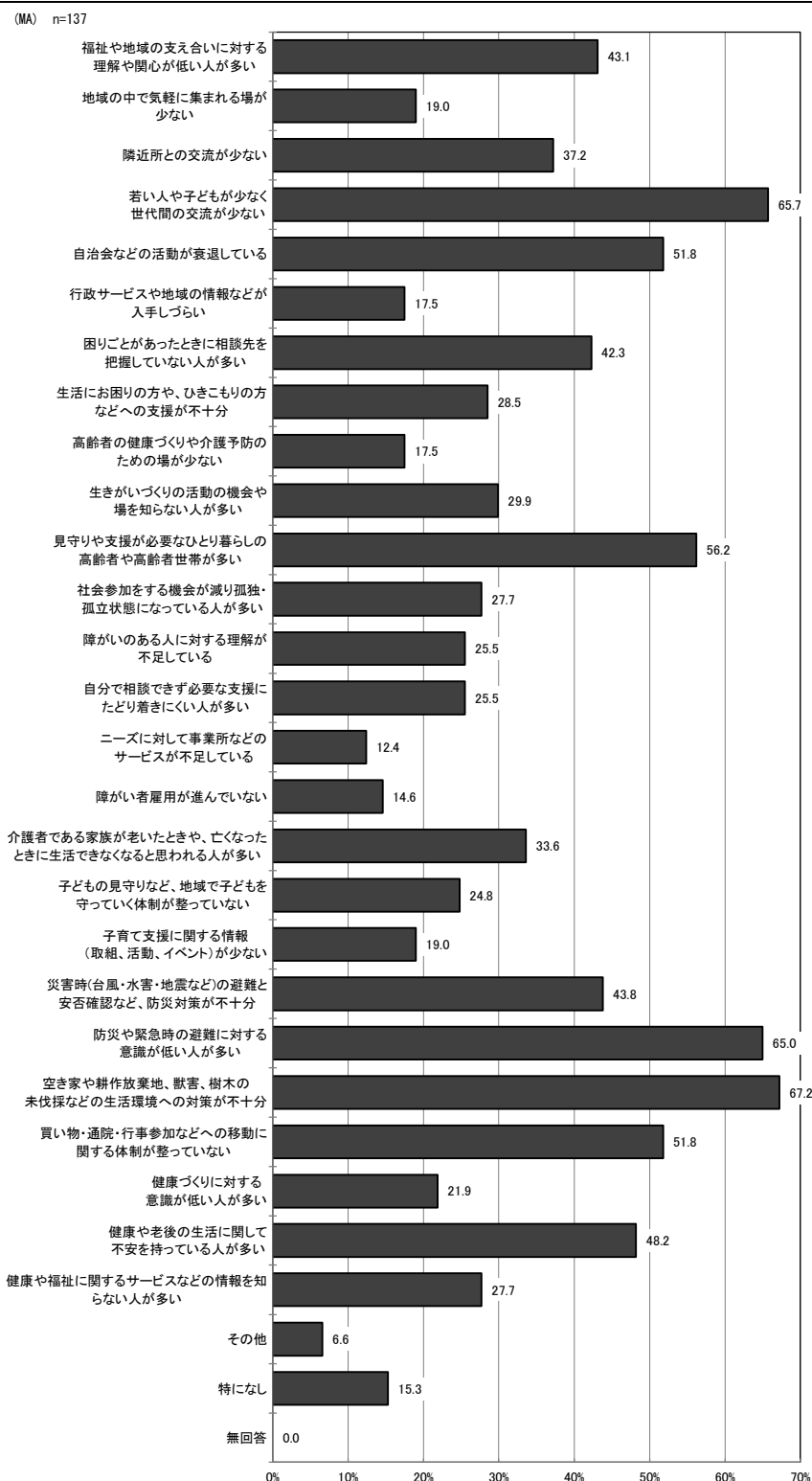
(MA) n=137



3 地域の状況について

問3 地域(または貴団体)の活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。
(MA)

「空き家や耕作放棄地、獣害、樹木の未伐採などの生活環境への対策が不十分」が67.2%で最も高くなっています。次いで「若い人や子どもが少なく世代間の交流が少ない」が65.7%、「防災や緊急時の避難に対する意識が低い人が多い」が65.0%で続いています。

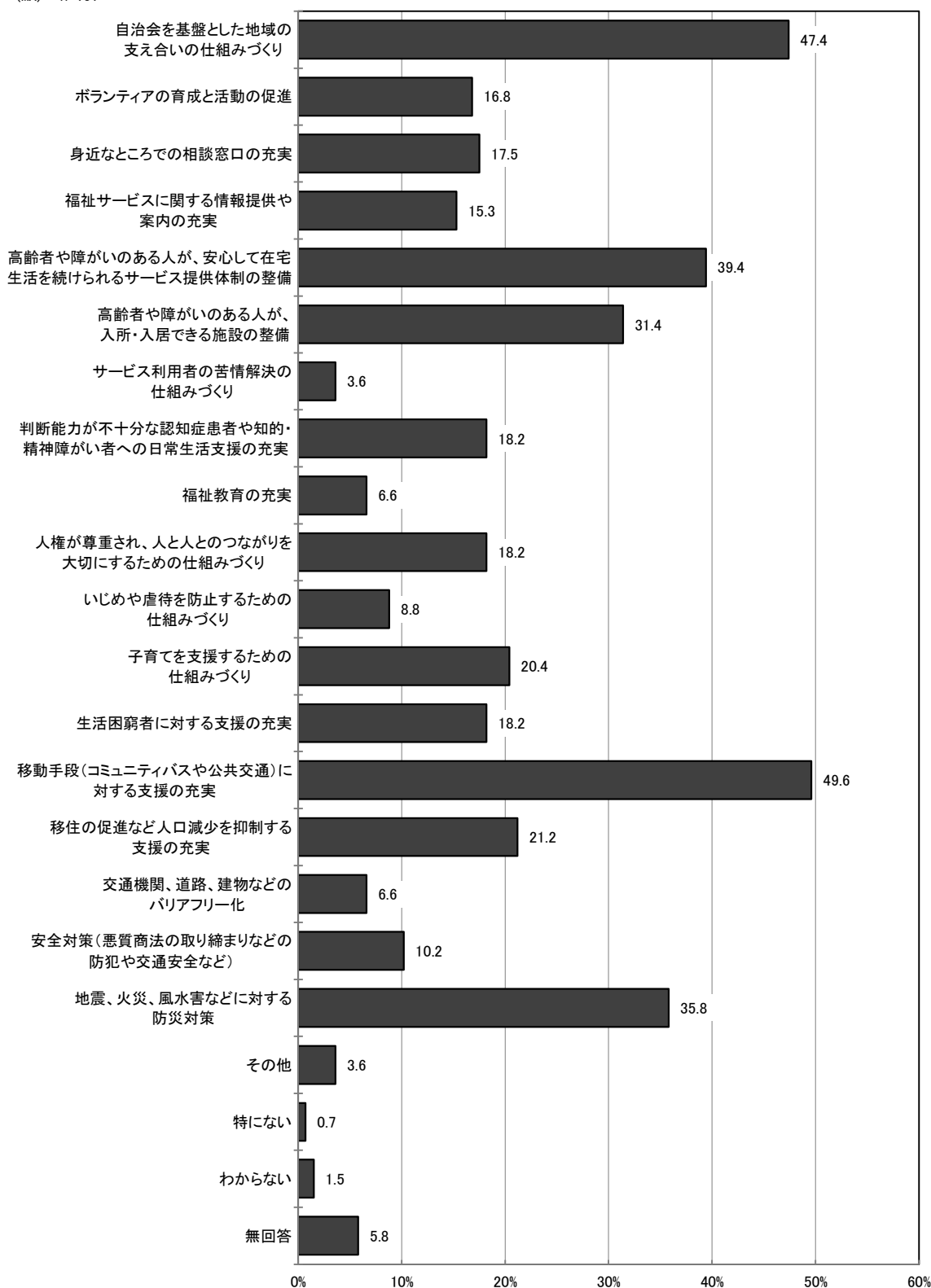


問5 福祉の充実を図るために安来市はどのような施策に優先的に取り組むべきだと思いますか。

(MA)

「移動手段(コミュニティバスや公共交通)に対する支援の充実」が49.6%で最も高くなっています。次いで「自治会を基盤とした地域の支え合いの仕組みづくり」が47.4%、「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」が39.4%で続いています。

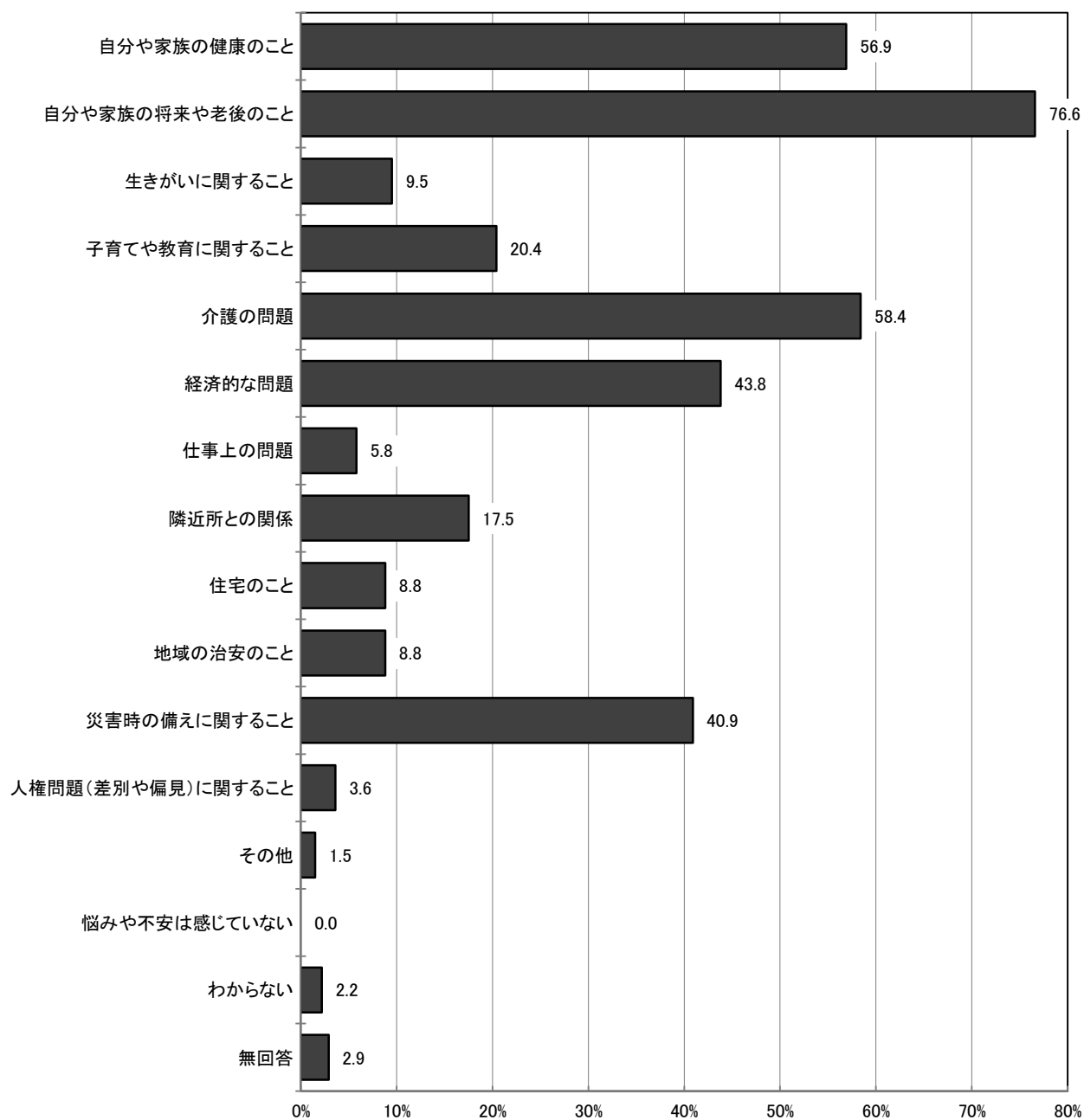
(MA) n=137



問6 地域の人々が感じる悩みや不安はどのようなことが多いと思いますか。(MA)

「自分や家族の将来や老後のこと」が76.6%で最も高くなっています。次いで「介護の問題」が58.4%、「自分や家族の健康のこと」が56.9%で続いています。

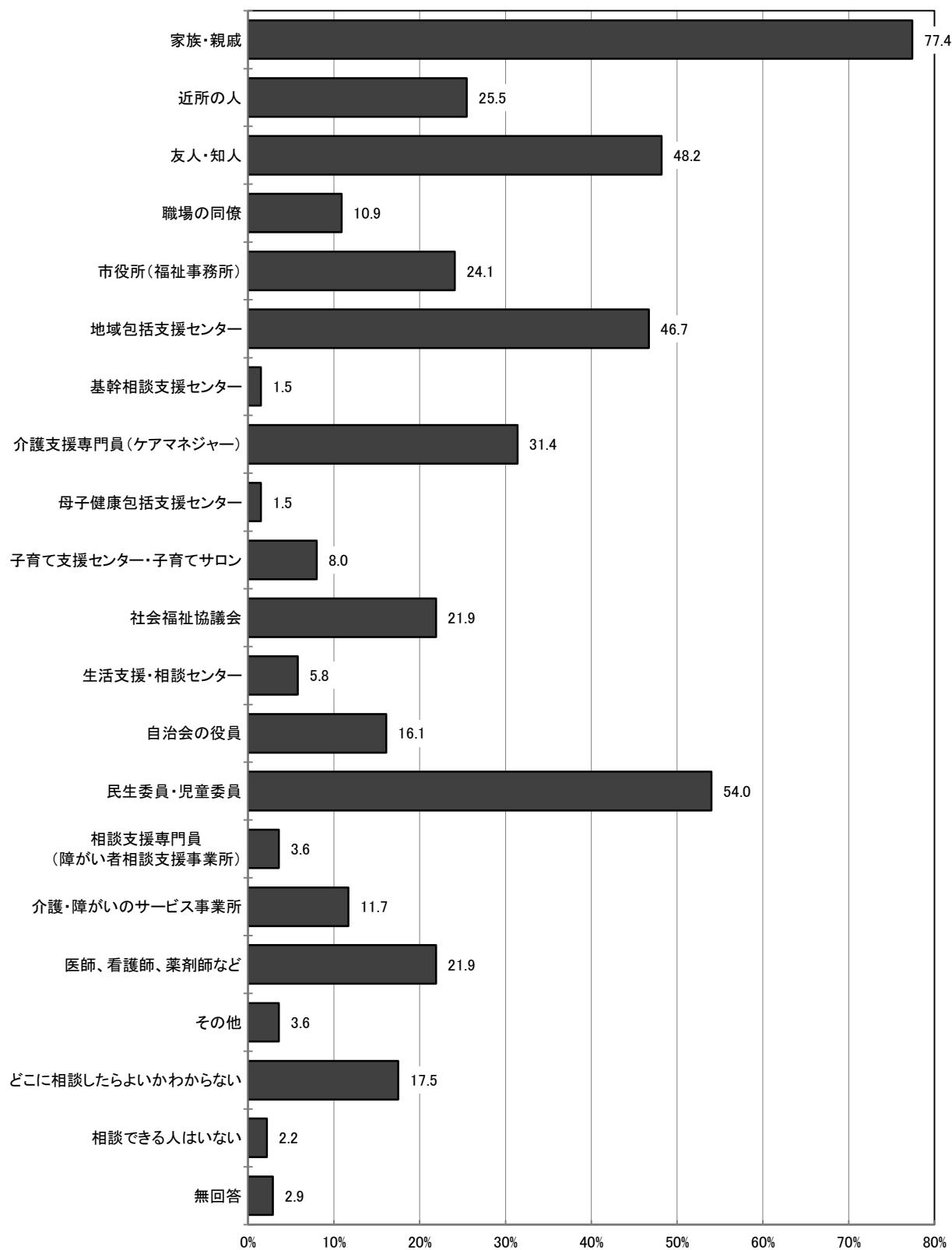
(MA) n=137



問7 地域の人々は悩みや不安について、誰に、またはどこに相談していると思いますか。(MA)

「家族・親戚」が77.4%で最も高くなっています。次いで「民生委員・児童委員」が54.0%、「友人・知人」が48.2%で続いています。

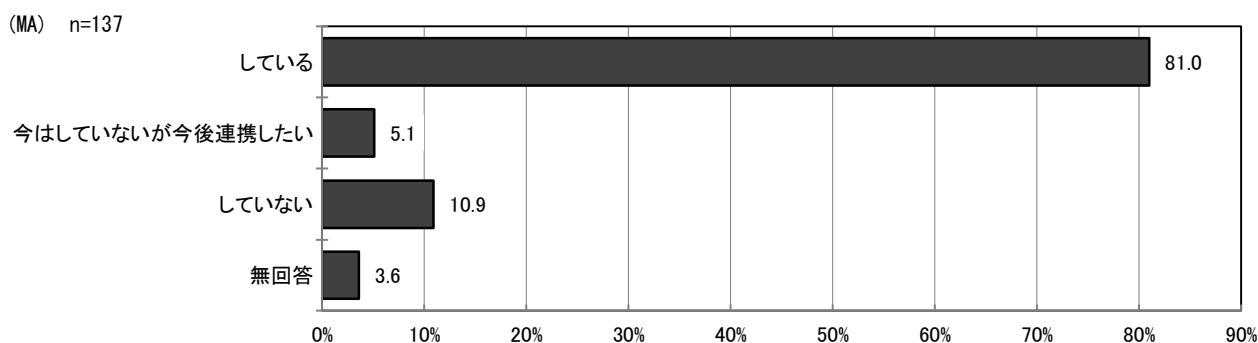
(MA) n=137



4 組織・団体間の連携の状況について

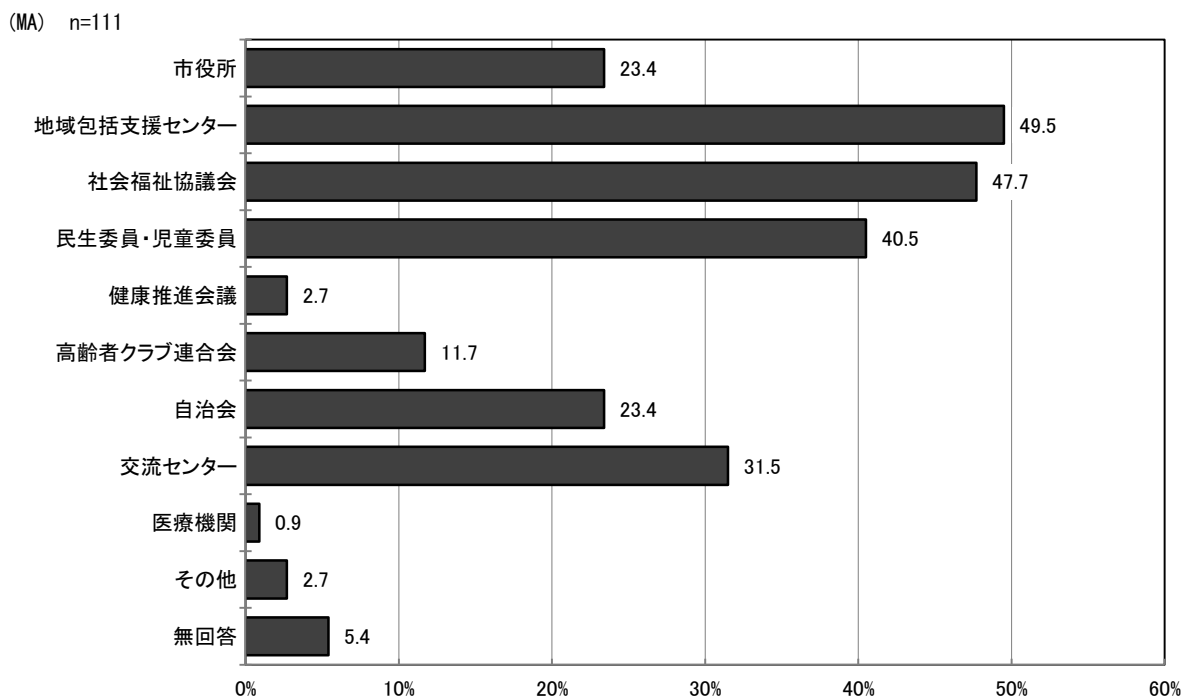
問8 あなた(または貴団体)は、下記の団体などと定期的な情報交換や交流などの連携をしていますか。(MA)

「している」が81.0%で最も高くなっています。次いで「していない」が10.9%となっています。



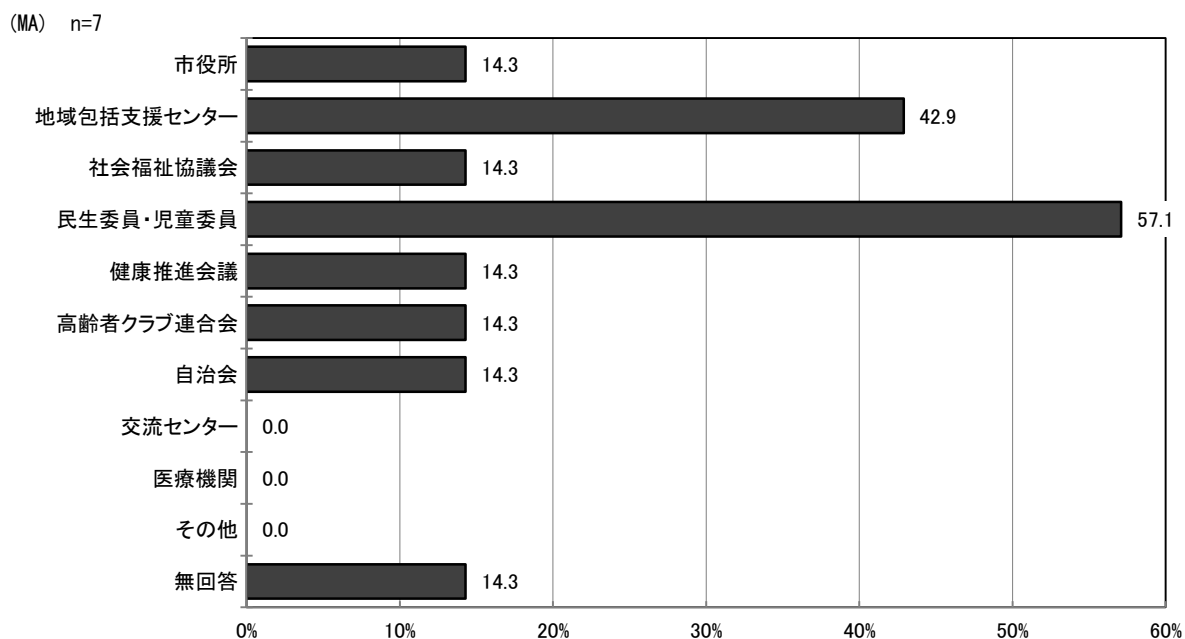
問9-① 問8で「1.している」を選んだ方にうかがいます。具体的にどのような団体と、連携をとっていますか。(MA)

「地域包括支援センター」が49.5%で最も高くなっています。次いで「社会福祉協議会」が47.7%、「民生委員・児童委員」が40.5%が続いています。



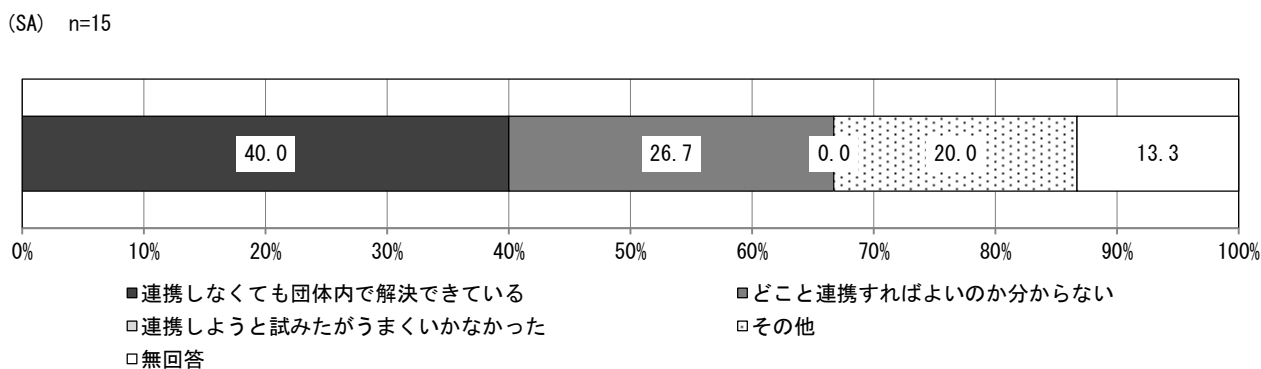
問9-② 問8で「2.今はしていないが今後連携したい」を選んだ方にうかがいます。どのような団体と連携したいですか。(MA)

「民生委員・児童委員」が57.1%で最も高くなっています。次いで「地域包括支援センター」が42.9%で続いています。



問9-③ 問8で「3.していない」を選んだ方にうかがいます。連携していない理由は何ですか。(SA)

「連携しなくても団体内で解決できている」が40.0%で最も高くなっています。次いで「どこと連携すればよいのか分からない」が26.7%で続いています。



5 安来市の福祉全般について

問 10 安来市の福祉について、あなたはどのように評価しますか。(各SA)

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合では「ア) 地域に人と人とのつながりがあり、共に支え合い助け合う体制がある」が 59.8%で最も高く、次いで「ウ) 高齢者や障がい者、生活困窮者など支援が必要な人に対して、適切な支援が提供されている」が 51.8%となっています。

n=137

